

|    |   |
|----|---|
| 53 | まだ、じっくりと検討できていないのが現状。今は別の業務に追われている。健やか親子21についても出生数が少ないので大きな事業ができにくくニーズをきちんと捉えて実施計画を立てたいと思う。   |
| 54 | まだこのことでじっくり読む余裕もなく理解はこれから。  |
| 55 | まだ具体的には計画案が出ていない。9月末に策定会議を行う予定。住民の意見をいかに汲み取っていくかが難しいと思う。  |
| 56 | まだ市の中で健やか親子21が消化されていない。具体的に勉強会、研修会に取り組み方向性を出していきたいと考えている。   |
| 57 | まだ手をつけていないのでわからない。  |
| 58 | まだ十分考える時間もない状況。中身について検討していない。   |
| 59 | まだ内容が良く理解できていない。現状維持が精一杯でとても大切な分野なので今後係内、課内でも検討していく必要があると思う。  |
| 60 | マンパワー、予算等大きな壁はあるもののできる範囲の中から手がけ範囲を広げていきたい。  |
| 61 | メンタル面を重視した内容になっている。書面的ではなく実践的なので大変満足している。実践できるように頑張りたい。   |
| 62 | もう少し具体的な取り組み例等を紹介したような報告を盛り込んでもらいたい。  |
| 63 | もっと教育委員会と連携を取りながら思春期保健対策に取り組まねばならないが教育委員会は健やか親子21の必要性をなかなか理解してくれない。性教育の小冊子「ラブ&ボディ白書」の配付についてはまったく関心無し。                                       |
| 64 | もっと分かり易いといい。  |
| 65 | やりたいという思いはあるが実際の業務に追われてできないのが現実。何とかしていきたい。  |
| 66 | ゆとりを持って健やかに育てるための家庭、地域づくりが必要だと日々の活動の中で感じている。新しさも必要だが「昔ながらの」というところも大切にしていきたいと思う。   |
| 67 | よくみていないのでわからない。   |
| 68 | よくわからない。  |
| 69 | 安心して育児、出産、妊娠できる様取り組んでいきたい。10年計画であるが、実際はもっと長い目で取り組んでいきたい。(永遠の課題であると思うので)   |
| 70 | 医療、福祉の地域格差が大きく目標値に達するのに時間を要すると思う。   |
| 71 | 育児不安の原因の一つに知識不足があると思われるので学校教育のカリキュラムの中に取り入れて欲しい。(栄養や食事についても同じ)また親と子が子育てをもっと大切にしていける社会環境の整備が必要と思っている。  |
| 72 | 育児不安や虐待など益々関心が高まってきているが老人が増え老人保健にマンパワーが集まっている。この中で若年の保健婦が母子を担当していることが多いので研修等がもっと必要になってくるのではないかな。  |
| 73 | 一つ一つの項に対して目標が設定されていて分かりやすい。実施していくにあたっての方向性が明示されているので実施し易いのではないかな。   |
| 74 | 一人一人が互いに相手を思いやり皆で支え合って豊かな人生を送ろうという取り組みにこれからも積極的に関わっていききたいと思う。   |
| 75 | 一村で健やか親子21全般について整備、実施していくのはとても困難。他課との連携も勿論だが管内、県内に適合するような計画を求める。  |
| 76 | 一般行政分野においてクローズアップされるのは「デュエットプラン」「子どもプラン」等であり、担当課は企画課や児童家庭科等に分散している。母子保健計画、健やか親子の存在を広く周知していく必要性を感じている。市として母子に関わる計画の一本化が必要で学校教育分野からの支援、連携が大切。 |
| 77 | 栄養や歯科は別な枠組みとこのことだが、栄養は心の栄養とも関連するのでむしろ重ねて良いと思う。  |
| 78 | 我が町では具体的にどのように進めていくのか決まっていない。少子高齢化状態で介護保険に目が向けられている今日だが母子分野、特に思春期に対しての保健分野にもどんどん介入して展開していきたい。   |

|     |   |
|-----|---|
| 79  | 我が町では少子高齢化が進んでいる。そのため今後益々母子に力を入れていく必要があると思っている。また、アンケート結果を参考にしたい。   |
| 80  | 介護保険導入時から母子保健にかかるウエートが少なくなったように感じられる。我が町においても少子化が県内でも効率で進んでおり母子保健担当として危惧している。しかし、上司の理解が得られないのが現状。健康日本21はいろんなところでPRされよく知られているが健やか親子21は今の少子化の問題を具体的にポイントを掴んでとても分かり易いがあり知られていない。 |
| 81  | 各課題の取り組みの目標について指標がいくつか出ている。これらの指標がきちんと出ているとそれぞれ行った事業などの評価がし易いし誰の目にも分かり易いと思う。どのようにこれらのアンケートを取っていくか、どのような尋ね方をすればきちんと正しいデータが得られるのか。これらの指標の望ましい出し方があれば教えて欲しい。                     |
| 82  | 各課題の目標値やそれぞれの領域の指標の設定が難しい。福祉、教育部門や地域との連携、協力の充実を図っていきたい。   |
| 83  | 各関係機関が共通の認識を持って連携を強化するにも予算措置のバックアップは不可欠。人口規模の小さい町ではある程度広域的に取り組んでいく方が良い。   |
| 84  | 各市町村様々な背景の中で策定された母子保健計画は書く市町村の位置付けがそれぞれ異なる。各市町村の色を出していくための独特の評価が見えにくい。  |
| 85  | 各事業を起こした場合の課題、進め方、問題点、マンパワーの確保等すでに実施されているところの情報を知りたい。   |
| 86  | 各分野に添った目標に対して具体的な言葉で表されており評価についても全て数値で評価できるようになっている。実施に生かせる計画だと思う。  |
| 87  | 学校との連携の仕方が難しい。教育庁宛から学校に連絡、具体的に指示があれば良いと思う。  |
| 88  | 学校や医師会、地域等との連携が必須でどこがリーダーシップをとって推進していくか決まらない。母子保健計画の見直しをしていく中で考えていきたい。  |
| 89  | 学校や病院等の連携が必要。今までネットワークができていない状況だったのでこの機会にネットワークをつくりたい。  |
| 90  | 学校関係との連携については5日制の完全実施で学校に時間の余裕がなく教師の理解が低い。また、高校との連携が難しく課題が大きい。  |
| 91  | 学校関係へも強力におおして欲しい。   |
| 92  | 学校現場との話し合い、現状の問題点の把握等をしていく事が求められていると思う。そういう現状を出し合う事でお互いの立場での取り組みが見えてくるのではないかな。  |
| 93  | 学校等の教育現場の協力がまだまだ得にくい状況。もっと国レベルでの働きかけで学校側も検討する姿勢が欲しい。  |
| 94  | 学校保健、教育委員会と地域保健がいかに手を組んでいけるかがキーポイントとなると思う。  |
| 95  | 学校保健との連携がとても大切になるが今でも養護教諭等との意見の食い違い等で困難な面がある。県レベルでの意識の統一が必要だと思う。  |
| 96  | 学校保健との連携が困難。思春期保健の事業をどうすすめていかわからない。   |
| 97  | 学校保健との連携が取れていない現状があるので健やか親子21を機に互いに理解、協力し合っていける事業を考えたいと思う。  |
| 98  | 学校保健との連携が必要と感じているが、とれていない。  |
| 99  | 学歴だけでなく資格がなくても情報や体験を多く持っている人は社会の中にたくさんいる。そういう人たちの声をもっと取り上げて欲しい。現場を知っている人をどんどん起用して欲しい。   |
| 100 | 関係機関(保育所、幼稚園、医療機関、学校、社協等)と母子について共有したり、共にスムーズに動けるようになることが今後の課題。  |
| 101 | 関係機関への周知が十分でない。特に教育関係者はほとんど知らない。国としては横の連携をどう取っているのか知りたい。健やか親子21について行っている厚生科学研究の一覧表が欲しい。   |
| 102 | 関連した新規モデル事業など業務量も多く追われている状況の中で実施していかなければならないので大変だが、やらなければならない。  |

|     |  |
|-----|--|
| 103 | 関連機関が多く、事業施行に困難を感じる面があるのではないかと不安に思う。しかし、より、事業に近づけるための活動をしなければと思っている。   |
| 104 | 基本的にはこの運動には賛成で、できる範囲で実現を目指しているが国民一人一人が子どもを産み育てることの意味を考える場がないため表面的に流れていくのではないかと。根本がないように思う。   |
| 105 | 基本的視点の4つの課題には地域の実情に大きな差があると思う。国からの補助金はあまり範囲を限定しないで市町村の実情に添ったものであって欲しい。   |
| 106 | 基本的視点は理解できるが指標と方策（取り組み）の関連が分かりにくい。国や県の計画を推進するために市町村と協力すべき点があると思うがその話し合いがない。住民、関係機関、団体が一体となって推進する計画づくりとは言うは易く実行は難しい。何から手を着けていか頭を抱えてしまう。         |
| 107 | 基本的な生活習慣の自立への項目がないが大切だと思う。現在、中学生を核に健康教育を実施している。  |
| 108 | 既に立案している母子保健計画や今後策定する健康日本21との整合性をどうはかるか。また、住民の意見をどのように聴取し、反映させていくのか考えなければならぬと焦りながらも取り組んでいくだけの時間的、能力的ゆとりがない。                                    |
| 109 | 虐待に対する対策をもっと打ち出して欲しかった。保健で気になっても細かく対応できないのが現状。福祉も手一杯で大変だと思うがケース事にしっかり添って支援してくれる人がいない。  |
| 110 | 虐待等、今母子保健に関する問題が増加しておりその中で少子化という傾向にある。子どもが健やかに成長し多くの恵みを得て発達していくには安心して妊婦が出産できる体制づくり、思春期から命の大切さ等理解してもらえることが必要。母子保健に携わる私達関係者も連携を図りつつ取り組まなければならない。 |
| 111 | 虐待等のニュースを聞くたびに子どもを取り巻く環境や時代背景が大きく変化していると感じる。この大きな変化をどう変えていくのか。   |
| 112 | 教育の現場、医療の現場等との連携、ネットワークでより専門的になったり幅が広がってくるため少ない保健婦数で行うには困難があるとも感じる。  |
| 113 | 教育委員会との連携を要する事項も多くあると思うが、今まで一緒に事業に取り組んだ実績がなく取りかかりが難しく思える。  |
| 114 | 教育委員会等、ふだん連絡することの少ない部署との連携に戸惑う。  |
| 115 | 教育関係との連携が難しい。教育関係機関への推進強化を希望する。母子保健担当者1名での計画展開が大変厳しい。  |
| 116 | 教育機関と連携が取りやすいようにして欲しい。   |
| 117 | 業務に追われ健やか親子21を深く読んでいない。母子保健の見直しを来年度行うので、できる分野で取り組みたい。  |
| 118 | 近年、特に思春期対策の必要性を痛感。健やか親子21の中では筆頭に掲げられており、本町としても学校と連携を図りながら推進したい。  |
| 119 | 近年問題となってきた思春期に対する計画が盛り込まれているので、当市の母子保健計画を見直す時は参考にしていかなければならない。   |
| 120 | 具体的で誰が見ても分かり易い計画にしたいと思っている。  |
| 121 | 具体的な施策となっているのはいいがそれを市町村に当てはめた時に数値目標の設定など逆にネックになりそうな感じを受ける。   |
| 122 | 具体的な取り組みが明記されていると思うがそれを担っていく行政の保健婦等の力量に左右されると思う。研修などを受け力量をアップする事ができたらと思う。また、地域でも市町村単位で他の機関との連携が取れるようになればと思う。                                   |
| 123 | 具体的な数値目標があり分かりやすく取り組みも易いが、達成するためには今以上のマンパワーが必要。人員増に対する補助、対策も盛り込んでもらいたい。  |
| 124 | 具体的な内容等が見えにくく実施する時になってどこがどう動く事になっていくのか分かりづらい。少人数に対する指導が重要になると思われるがそれをやっていくには経費等の問題が生じるのではないかと。   |
| 125 | 具体的な目標値があつて良い部分もあるが目標が現実的ではない部分もある。しかし、項目が整理されているので取り組むべき課題が分かり易い。   |

|     |  |
|-----|--|
| 126 | 具体的な目標等が書いてありとても参考になるが町でどう取り組むか課題。   |
| 127 | 具体的にどのように活用し、事業の中に組み込んでいけばいいか分かりにくい。   |
| 128 | 具体的に進めていくためには予算確保が大変、国からの支援を。  |
| 129 | 具体的に設定されているので分かり易い。  |
| 130 | 具体的な数値目標があり良いが小さな町村で実施するにはかなり手間がかかり時間、マンパワー不足。   |
| 131 | 具体的な目標、指標を当町用として考えていくことが難しい。   |
| 132 | 計画づくりがたくさんあり過ぎる。   |
| 133 | 計画づくりの経験がないため計画の効果が見えない。   |
| 134 | 計画のための計画でこれに時間をかけてもらえない。都市部においては人材が揃っているかもしれないが負担が大き過ぎる。   |
| 135 | 計画のための計画にならないようにしたい。   |
| 136 | 計画の実現に向けたと思う。子どもの環境、今後の社会にメリットが多いと思う。しかし、実際の業務量や周囲の理解に限界を感じるとともに母子保健への関心が薄い。どのように進めていったら良いか考えられず日々の業務で終わっている。        |
| 137 | 計画を挙げたいと思っても現実を見ると人手不足であったり、予算上困難であったりするため計画に挙げるのをためらってしまうところがある。健やか親子21を実現するために保健婦増員など国、県からの補助が欲しい。                 |
| 138 | 計画を策定する上で参考になったが実際のサービスとして使うために予算も同時に交付される仕組みにして欲しい。   |
| 139 | 計画を立案し、実施した後の評価の仕方が難しい。  |
| 140 | 計画策定については関係課との調整、事業の見直しのよい機会になる。またこれを機会に今まで苦手と感じていた学校保健との連携が少しでも進めばと思っている。(本当は非常に憂鬱)                                 |
| 141 | 計画書の作成はどんな方法を用いてもできるがその事業化や町づくりというところまで持っていくのが大変だと思う。  |
| 142 | 計画倒れにならないよう努力したいと思う。   |
| 143 | 健やか親子21「健康日本21」「新エンゼルプラン」など重なる部分を持つプランづくりがあり過ぎる。策定に重なる関連機関もありややこしい。  |
| 144 | 健やか親子21のⅠ～Ⅳの4分野全てに取り組むのは現在の人員では無理。Ⅳについては現在も重点的に実施しているため更なる充実に努めたい。   |
| 145 | 健やか親子21が示している方向に国民全体が進んでいくことができれば安心して子どもを産み、育てることができると思う。今も行っていると思うが母子担当者だけではなくより広く国民に理解してもらえよう今後も周知活動をお願いしたい。       |
| 146 | 健やか親子21だけでなく健康日本21の中に盛り込んで欲しい。   |
| 147 | 健やか親子21でうたう事業において国、県、学校、市町村で整備、支援の必要なレベルを分けて公表して欲しい。   |
| 148 | 健やか親子21では具体的な取り組みや数値目標が設定されている。私達が町の中で取り組んでいく時にどこから取り組んでいくのか、母子保健計画を策定する時にどのように反映させていくのか課題だと考えている。まだ自分の中では漠然としている状況。 |
| 149 | 健やか親子21では事業の枠組みが決まっても細かい内容が決まられていないので各市町村のカラーが出る事業ができる。しかし、予算の措置が難しいと思われる。   |
| 150 | 健やか親子21では他職種との連携が重要になってくるが、難しい。離島では町単独でできる事業に限られてくると思う。保健所管内での連携が事業によっては必要になってくると思う。                                 |
| 151 | 健やか親子21で言われていることはどれも重要だと実感しているが限られたスタッフと時間の中では今の業務で手一杯なのが現状。新しいことをする際の労力を思うとなかなかやろうという気にはなれない。理想と現実のギャップがある。         |
| 152 | 健やか親子21で出されている各課題の取り組みの目標を母子保健計画の中にどのように設定していくか検討課題。   |
| 153 | 健やか親子21で唱えている課題は考える必要があると思っっているのでもっと母子保健計画に組み込んでいきたい。また、学校関係との連携も密に進めていきたい。  |

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 154 | 健やか親子21で提示されている内容を全て町の事業として取り組むことは困難であり今後市町村保健婦としては保健所、保育園、学校、医療機関等と連携しながら地域全体で取り組まなければならない。そのためにも連絡会、協議会等を開催しコーディネーター的な役割も必要になってくると思う。   | 174 | 健やか親子21の「人間として成長しながら親子が豊かな人生を送れるよう個の親子を支援する…」という考え方で数年前から事業に取り組んでいる。思春期を見据えながらの乳児期、そして始めての子育てにポイントをおいた相互作用の子育て支援を実施している。  |
| 155 | 健やか親子21という名前だけが一人歩きしている感がある。中身を見てみると、思春期と虐待防止がメインになっている。この名称の通り健やかということであれば、もっと幅広く、豊かな人間形成という視点で地域社会全般に渡った(学校も含めて)人作りの中でも一貫として取り組むべきではないかと考える。  | 175 | 健やか親子21の課題は母子保健で重要なことは理解できるが教育、福祉等との関連機関が多く具体的な活動となると難しさを感じる。是非、連携を取り易い方法を検討して欲しい。  |
| 156 | 健やか親子21と福祉の方で打ち出している「エンゼルプラン」その他青少年育成関連のプラン等重なる部分が多くある。国レベルではそれぞれ別域で思案すると思うが当町のような小さな町においてはそれぞれのプランを立案するのは合理的ではない。その辺の事情も踏まえプランを打ち出してもらいたいと思った。具体的には健やか親子21と「エンゼルプラン」の兼ね合いはどのように捉えるべきか。 | 176 | 健やか親子21の啓発ポスターが一般向けではない。新エンゼルプランと共通する部分も多く市町村としては共同でいける部分も多いので各庁でもう少しPRして欲しい。保健以外の部署との連携意識が低い。  |
| 157 | 健やか親子21についていろいろな研修会の場面で話を聞くことができ少し分かってきた。町でも母子保健計画を見直す際に盛り込んでいきたい。もう少し勉強したいと思っている。  | 177 | 健やか親子21の計画は人口5,400人の当市では当てはめるのに難しい。しかし国や県から会議に出るために求めることが強すぎて辛い。(人材もないし、自分はずちの市には必要無いと思っているのに、何故といわれる)計画だが、育児不安、心の部分での評価方法をもっと盛り込んで欲しい。本当に母子保健事業が育児不安につながっているかどうかの指標があればよい。             |
| 158 | 健やか親子21については今後母子保健連絡協議会において検討して母子保健計画に反映させたいと思う。  | 178 | 健やか親子21の計画書もふまえて町の計画を立てていく予定であるが、町の現状では母子は後回しになっているので、予算等厳しいと思う。  |
| 159 | 健やか親子21については聞いているが詳しくはどう進めていくか良く分からない。今までの事業とどう絡めていけば良いのか。  | 179 | 健やか親子21の事業を取り入れているか否かで母子保健活動に関する取り組みの状況が評価されてしまうのかと。妊婦や乳幼児数の少ない所は事業化しなくても個別に関わっていく中で問題解決していくことが多々ある。今年も見直しの時期になっているので健やか親子21の課題も含め必要となるものは取り入れていきたいと思う。しかし、予算のある無しに関係なく必要なものを立ち上げていきたい。 |
| 160 | 健やか親子21については隣接村とも話し合い、保健所とも話し合いをこれから持ちたいと思っているところ。まだまだ内容を熟知していないのが現状。   | 180 | 健やか親子21の取り組みにおいては従来の計画作り以上に住民参加の必要性を感じるが難しい現状にある。   |
| 161 | 健やか親子21について名前は知っているが中身については十分理解できていない。関係者、保健婦等で話し合い母子保健計画を立てなければならないが時間的に余裕がなく共通の理解が得られにくい。   | 181 | 健やか親子21の取り組みには保健、医療、福祉、教育、労働等の関係機関との連携が必須であり各分野ごとの意識付けが無い限り実施は難しいと感じている。  |
| 162 | 健やか親子21により保健、医療、福祉に関わる機関が今以上にスムーズに情報提供や連携し易いネットワークをつくっていく必要性を感じる。   | 182 | 健やか親子21の取り組みを進めながら学校との連携が深まればと思う。関係機関(労働、教育、医療、警察などを含めて)への周知が必要と思われる。   |
| 163 | 健やか親子21に関しては学校教育の部署との連携も重要と考えている。国として教育と保健分野が同じ方向性で事業推進しているのか疑問に感じている。  | 183 | 健やか親子21の中でも特に子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減の分野について、母子保健計画の中に盛り込んでいきたいと考えている。  |
| 164 | 健やか親子21に関してもまだまだ勉強不足。今の母子保健事業とどのように関連づけて良いか等、活用性も重要性も理解できていない。  | 184 | 健やか親子21の内容はこれまでの母子保健業務の中では対応仕切れない内容が多く盛り込まれているように感じる。他職種、他機関との連携なしには実施困難だと思う。   |
| 165 | 健やか親子21に関して母子保健計画をどのように見直していけば良いか教えて欲しい。  | 185 | 健やか親子21の内容は素晴らしいものだが小さい町の現状として追いつくのが精一杯という感じ。また単独ではなく広域的な取り組みが必要でHCの力をもっと貸して欲しいと思う。それがHCも活性化する方法ではないかと思う。   |
| 166 | 健やか親子21に関し保健所が動き始めたので町としても動かなければと思うが、実際には何も予定が立っていない。   | 186 | 健やか親子21の名のもとに国レベルで厚生労働省、文部科学省と一緒に取り組んでいくという事は素晴らしいと思うが、実際保健サイド(母子に関わる中)で今回の思春期等教育サイドとの意思統一や連携が非常に難しい問題としてあがってくる。  |
| 167 | 健やか親子21に関することは今までの母子保健事業で行ってきたもので多くあり、特に健やか親子21に関連した事業として特別に分けて考えることはないと思う。   | 187 | 健やか親子21の目指すところは理解できるがこれを当市として何じくすることに困難がある。レベルが異なると思う。  |
| 168 | 健やか親子21に関する事業(予算措置に基づいた事業)の内容は概して私達が取り組んでいる事業とは隔たりがあるような気がする。勿論大事なことだと思うけれど今回当市の母子保健計画に反映できる事業がどれくらいあるのか不安に感じている。予算面でもマンパワーの面でもかなり厳しいものがあると思う。  | 188 | 健やか親子21はあくまでも国の推進計画なので地方レベルで取り組めることは何かという点も明示されていると分かり易い。頭の整理に時間がかかった。  |
| 169 | 健やか親子21に関係なく町として取り組むべき事業を計画、実施していきたい。   | 189 | 健やか親子21はかなり大きな計画で、市としては1本柱のうちの一つでも取り組めたらいいと考えている。母子保健の課題は分かりやすそうだが掴みにくいと地方計画を立てながら悩んでいる。  |
| 170 | 健やか親子21に基づいて町の母子保健計画を立案したいと思っているが、他の機関や職員との連携が現状ではできていない。その難しさと重要性を感じた。   | 190 | 健やか親子21はこれから取り組んでいかなければならない項目を提示している。ベースラインも提示されているが自分の町の現状を把握し町独自の指標を作る必要性を実感した。母子保健事業を盛り上げられる健やか親子21であればいいと考えている。   |
| 171 | 健やか親子21に挙げられている課題の一つずつ取り組んでいけば良いのだが年間出生率約20名の小さな町では母子保健に力を入れられないのが現状。   | 191 | 健やか親子21はヘルスプロモーションを基本理念としているので子育てが親育て、地域育てとなるような取り組みにしていきたいと思う。   |
| 172 | 健やか親子21に取り上げられている事業はどれもとても大切な事である。親子の豊かな人生を支援するという大きな課題があるためゆとりを持って接する、支援することが大切だと思う。関係する職種のマンパワーの確保、質の向上が必要ではないかと感じた。  |     |   |
| 173 | 健やか親子21に対して少し意識して取り組もうと思えるようになってきた。今年、母子保健計画の見直しの時期であり整合性を取るつもり。  |     |   |

|     |   |
|-----|---|
| 192 | 健やか親子21は各分野にまたがって考えてありこのような視点で見ていくことも必要なことが分かる。心の問題も大きくなっており自分の町の現状をよく知って取り組む必要があると思う。  |
| 193 | 健やか親子21は関係機関（教育委員会等）との連携が図れないと実施、計画は難しいと思う。また、市町村では限界があり県、国のバックアップが必要だと思う。特に、医療機関の整備、医師の確保等に力を入れて欲しい。   |
| 194 | 健やか親子21は現代の子どもを取り巻く環境の問題を網羅した素晴らしい計画だと思う。実施する側としては障害者プランの策定をはじめ、介護保険施行に伴う稼働量の増加等行政保健婦の業務状況は厳しくなっている。医療、福祉機関、県（保健所）、町でのネットワーク作りをし分担、連携を取りながら進めていかなければと思う。また、予算措置もお願いしたい。   |
| 195 | 健やか親子21は策定が義務付けられているものではないので保健分野以外のスタッフから必要性を理解してもらえない。   |
| 196 | 健やか親子21は策定するにあたり他機関との連携が不可欠。住民のニーズを把握することも必要と理解しているがなかなか準備まで至っていないのが現状。また、今後どうしていくのか未定であるため策定に関して空白の状態です。   |
| 197 | 健やか親子21は親子に関わる問題を系統的にまとめた素晴らしい計画だと思う。しかし、親子を取り巻く環境は刻々と変化しており個々と深く関わらないと核心が見えてこない事が多く母子事業を進めていて非常にあせりを感じる。   |
| 198 | 健やか親子21は他の課や組織と一緒に考えていかなければならない項目があり、場合によっては実施するのが難しいものも出てくるのではないかと。指標に対する現状は市町村レベルで出てこないものも多く、目標値を設定するのが大変だと思う。項目の中に歯科に関する事が含まれていないのが不思議だ。   |
| 199 | 健やか親子21は地域の特殊性を考えた場合すべてが受け入れられるものではない。また、その地域での母子保健事業の経過によっても対応は異なる。  |
| 200 | 健やか親子21は特に思春期に焦点を当てたが従来にない施策であり大いに推進すべきだと思う。しかし、母子保健計画の中に位置付けたことに疑問を感じる。目指すところは保健に止まらず生活そのものである。この事業を国民運動にまで高めていくためには文部科学省、経済産業省、環境省等が横並びで運動を推進していかないと目的は達成されないと思う。地方自治にばかり縦割り行政の弊害を説くのではなく国レベルで横並びの対策を推進して欲しい。 |
| 201 | 健やか親子21は保健だけではなく多種に渡る分野に関わる必要があり小さな市町村では医療過疎など実施しにくいプランだと思う。各自治体の施策の方向性がどこに向いているのかにより実現可能なプランにはなり得ない気がする。今の関連事業の中からは本町ですぐ取り組むべきものは見当たらない。予算を取れるだけの力はない  |
| 202 | 健やか親子21は母子保健を担当する部署が中心となって事業を進めていくには分野がいっぱいあり過ぎて荷が重い。   |
| 203 | 健やか親子21は法的根拠が弱い。母子保健計画見直しの中に項目を入れ込んでいきたい。   |
| 204 | 健やか親子21ホームページにいろいろな情報（取り組みなど）を載せて欲しい。   |
| 205 | 健やか親子21よりも町の状況、育児者達の声を優先し町に合った計画を立てられたらと思う。その上で健やか親子21の考え方も取り入れるような形にしたい。   |
| 206 | 健やか親子21を「〇〇（地域）子どもプラン」に反映させて市町村版子どもプランを作成していく方向性はあるが他課との調整、ネットワークづくりが必要（児童福祉担当課と調整中）。先進地の紹介を情報としてどんどん流して欲しい。  |
| 207 | 健やか親子21をうけ、母子保健計画を策定する訳だが、各自治体への周知が健康日本21とは異なる形でなされているように思う。ヘルスポロモーションの考え方は双方に関係するがどのようなツールで、また市民参加でという具体的な進め方に行き詰まる。   |
| 208 | 健やか親子21をすべて把握しておらず計画、実施の際し何から手をつけてよいか分からない。   |
| 209 | 健やか親子21をふまえて、今後母子保健計画を見直していきたい。   |
| 210 | 健やか親子21をもとに市町村母子保健計画及び市町村エンゼ  |

|     |  |
|-----|--|
|     | ルプランが統合的計画として盛り込まれたらと思う。   |
| 211 | 健やか親子21を含めた母子保健計画は充実したものになるだろうという期待感がある。が、町村合併、財政難と不安定さの中不安もある。  |
| 212 | 健やか親子21を参考にその市町村にあった内容で無理のない範囲で行いたい。今が手一杯な状態でどう展開していくか問題。  |
| 213 | 健やか親子21を実施するにあたり国は市町村に対して交付金等で支援して欲しい。   |
| 214 | 健やか親子21を踏まえた母子保健計画を作成していかなければならない。計画、実行で終わるのではなく計画（具体的な目標設定）→評価→改善（見直し）→計画というシステムで行えるように取り組んでいきたいと思う。  |
| 215 | 健やか親子21を立案する前にこれまでの母子保健計画の評価が必要だと思う。計画の評価方法を明らかにし、その評価結果をどう結びつけるのか。評価した結果と「健やか親子21の重点項目をどう結びつけて考えたらいいか迷っている。近隣の市町と評価方法を考えながらやっているが担当者で迷っている。また、健康日本21との関連性もどうしたらよいか。 |
| 216 | 健やか親子21母子保健計画の実施にあたり行政、地域、人材により大きな差が出てくるのではないかと。   |
| 217 | 健康づくりの基本。重要な事業だと考える。   |
| 218 | 健康づくり運動は計画初年度には盛り上がりを見せるが、その後継続していく困難さがある。健やか親子21はそのようにならないよう周知活動を徹底していくことを望む。   |
| 219 | 健康日本21が優先してしまい母子の分野が遅れをとってしまった。一緒に立てるのが難しい。  |
| 220 | 健康日本21だけでは、母子保健事業に十分反映させることが難しいと感じていたのでとてもよい内容だと感じた。   |
| 221 | 健康日本21とともにこの健やか親子21が市民の運動になっていくとよい。  |
| 222 | 健康日本21に比べインパクトが薄く課内、庁内のコンセンサスが得にくい。市内には小児科医がおらず健診に小児科医に入ってもらえない。人口、面積等を考慮した小児科医の配置を国レベルでの施策を組んでもらいたい。  |
| 223 | 健康日本21に比べまだ浸透していないように思う。PRや研修会をお願いしたい。   |
| 224 | 健康日本21に比べ目標値が分かりやすく取り組みやすい感じがする。   |
| 225 | 健康日本21のように、ベースラインがはっきりしていないため、具体的にどんな取り組みをしていけばよいか、イメージがわからない。学校、教育委員会等他の機関の協力がなくてはできないと思う。  |
| 226 | 健康日本21の計画との整合性を！事業評価の方法について具体的に示してほしい。   |
| 227 | 健康日本21の地域版を作成しているので健やか親子21に対しては保健分野は検討しているが、他の分野と内容検討をする時間の余裕がない。  |
| 228 | 健診の中で子どもの心身のみ目を向けていたが親と子に対してスポットをあて健診の見直しの時期であると思う。関係機関とどう連携をとるかも課題。   |
| 229 | 研修会等時々開かれているが業務多忙につき参加したことがない。健康日本21同様、目標数が細々挙げられているなあと印象。今まで積み上げてきたものを更にコソコソやっていかなくてはと思う。時代の変化が母親の育児力低下が目立ち問題のある家庭が増えている気がする。行政としてできることはと考えてしまう。                    |
| 230 | 県主催での研修（指標値、評価、視点など）。  |
| 231 | 県版健やか親子21を保健所に説明してもらいながら活用している。しかし、スケジュールを立ててはいるが日頃の他事業との関係でなかなか前に進めない。  |
| 232 | 現行の母子保健事業の見直し、整理の参考としたい。母子保健担当の保健婦等増員、予算増は難しい状況にある。  |
| 233 | 現在、（仮称）スマイルライフ21を計画策定中。参考にするものがなく地域らしさを出すのに苦労している。「健やか親子21」策定にあたり他市の情報を知りたい。   |
| 234 | 現在、エンゼルプラン、母子保健計画と一緒に計画中。その事務局を児童家庭科と一緒に持っており母子保健の視点のみではないのでなかなか大変。エンゼルプランと健やか親子21の位置付けもちょっと難しい。思春期にも取り組みたいが学校との連携は難しく。  |

|     |  |
|-----|--|
| 235 | 現在、思春期保健対策が重要であると考えている。このため学校との連携をより深めていきたい。   |
| 236 | 現在、実施している母子保健事業と福祉関係、育児支援事業との兼ね合いなど保健センターだけで実施することは難しい。今は福祉の取り組みがしっかりしていると思われる。  |
| 237 | 現在、地域づくり型の母子保健計画を策定中。健やか親子21の観点を含めて作成中だが時間的に平常の業務と兼務することは困難であり、真のプランを検討するには人的配置が先決であると思われる。  |
| 238 | 現在、町独自で思春期保健事業を実施しているが学校関係の理解が得られにくいのが現状。健やか親子21「健康日本21」についても知らないと言われもっと文部省との連携をとって欲しい。  |
| 239 | 現在、保健所と管内市町合同で検討策定中。この機会に広域的な取り組みにつながれば良いと思う。  |
| 240 | 現在、母子保健計画を再策定中だが健やか親子21の目標値や内容も盛り込んだ内容にしている。   |
| 241 | 現在している事業を母子保健計画見直しと共に健やか親子21に添ったものにしていきたい。また、関連した事業を新たに段階的に加えていきたいと思う。   |
| 242 | 現在の社会情勢から母子に対する支援は必須と感じる。小さい町のためもともとある人的、地域のネットワークに助けられている部分が多いが少子化だからこそ子育てを応援できる態勢をつくってきたい。保健の部分だけではなくボランティアの活動とも結びつける等お互いに有効活用していけたらと思う。何に関してとも言えることだが国から示されるものは都市向けであり展開に至らないことも多い。 |
| 243 | 現在は母子保健連絡協議会を設置し医療、福祉、教育部門との連携を図る努力をしているが健やか親子21を全般的に視野に入れての計画書を作成するためには医療部門の整理が難しい。また、他機関で実施しているもの（学校、福祉、保健所、県）をどのように盛り込めるか整理しきれない部分がある。  |
| 244 | 現在までの母子保健で積み残された課題、新しく発生してきた問題の解決が掲げられ母子保健上の課題が明瞭になってきた。既存の事業に合わせ取り組んでいきたい。  |
| 245 | 現在検討中であり具体的な計画としては見えていない現状にある。母子保健事業見直しのよい機会であると思っているが、他の業務との兼ね合いもありどこまで力を注げるか不安。  |
| 246 | 現在行っている事業の中で健やか親子21の課題設定を念頭に置きながら発展させられるものがあるかどうか考えていきたい。  |
| 247 | 現在実施している事業の見直し、今後の取り組みのきょうけつづくりとして活用できればと思う。   |
| 248 | 現在町の合併に向かい検討を進めている。合併すれば計画は必要になるので様々な角度で検討したい。   |
| 249 | 現在当町においても保健所と共にP-Pモデルを用いて母子保健計画を見直し検討中。その折り当町では妊婦への支援が十分行えていないのではないかとということで今後どのように関わり取り組んでいくか検討中。できるだけ住民の利用しやすいサービスが提供できるように努力していきたい。  |
| 250 | 現在母子保健計画の見直しを行っている。問題点を話し合う中で健やか親子21に当てはまるものが多く上がってきた。町としても現状に合わせ優先順位をつけ、事業として取り組んでいきたい。   |
| 251 | 現在立てている計画で、エンゼルプランを含めた計画が策定実施されている。しかし、この計画は具体的な方策が見えにくく健やか親子21を含めた計画の見直しを考えている。   |
| 252 | 現実子育てし易い環境になるよう推進したい。  |
| 253 | 現場では健やか親子21だけを見るのではなく「健康日本21」の絡みで見ているところが多いのでは。新たに何かと言っても正直気持ちに余裕がない。介護保険、母子、健康づくり、精神と市町村の方は余裕のある所なんて無いに等しいと思うが。   |
| 254 | 現場では対象が地域住民で一緒なので、健やか親子21も母子保健計画も、エンゼルプランもすべての要因が含まれるので、3つ統一して欲しい。   |
| 255 | 現状、問題、対策と分かりやすくまとめられ、今後の母子保健活動の指針としてとても有効なものと思う。個人的に思春期保健に関心を持っており、ぜひ学校、教育関係への健やか  |

|     |  |
|-----|--|
|     | 親子21周知について国からの働きかけをもっと行って欲しい。  |
| 256 | 現状が異なるので、各市町村で計画に盛り込むと言うことだがどのくらい反映させるべきか分かりにくい。   |
| 257 | 現状の母子保健事業の遂行においてもほとんど保健婦でやる分しかできない。経費をかけずに実績を上げることが要求されるので必要性は分かるが難しい。   |
| 258 | 現代のような問題（児童虐待、不登校、薬物乱用等々数えればきりが無い）を考えると早急に進めなければならない事業だと思っている。しかし、従来の成人保健事業、介護予防事業が1年間の稼働日数のかなりの部分を占めている事も事実である。全部を一度に実施することは不可能だが、優先順位を考えながら少しずつ実施していきたい。             |
| 259 | 現代の母子保健の状況を踏まえたものなので母子保健計画に生かしたい。  |
| 260 | 現代の問題が種々の方面から捉えられ具体的に目標値になって示されているため学校、その他関係機関にアプローチし易くなった。教育現場への健やか親子21の啓蒙普及状態はどうなっているのか。   |
| 261 | 現代社会において母子保健が大変重要なポイントであり、今後益々事業等の整備が必要であると考えている。その反面人材、予算等の確保等難しい面もある。身近な育児支援等から取り組みを始めていきたいと思っている。   |
| 262 | 効果的な進め方。   |
| 263 | 考え方、内容は理解できるが、実際に市町村で計画策定実施するためには現在困難である。  |
| 264 | 行政、専門職、住民それぞれの目標設定が曖昧と感じている。   |
| 265 | 行政のあらゆる計画、事業の住民参加においてもその手法の展開に自信がないため不安でいっぱい。  |
| 266 | 行政の保健部門担当でできることには限りがあり取り組めるものとしては「子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減」の分野しかないのが現状。予算の面でもマンパワーの面でも具体的に取り組みそうな課題がもう少し出されていたらと思う。  |
| 267 | 行政主体ではなく、住民主体にしようと思うと、自分自身の力量不足をひしひしと感じる。  |
| 268 | 高齢化対策の中ですっかり母子保健は影をひそめ小さくなっていったが、今後の方向性が示されやはり母子保健は大事と改めて自信を持って活動に臨める。しかし、報告書の送付のみでは理解も十分にできず学習機会がもっとあるといいと思う。どのように取り組むか考えていく時間にも限りがありスーパーバイザーの存在はこれからの市町村の活動には必要と感じる。 |
| 269 | 高齢社会、介護保険等ととにかく高齢者ばかりに目が行きがち。未来を支える子どもたちと若い親達を支援する基盤整備の足がかりとしたい。   |
| 270 | 高齢少子化かつ介護保険が重視される中、小さな町で母子保健の重要性を理解してもらい事業を実施していくのはかなり難しい。   |
| 271 | 合併問題を3年後に控え13年度末に計画の提出といっても現状維持か、一部改善の工夫しかできないのが現状。  |
| 272 | 国、県、市町村のそれぞれの役割が明確化されたのが今後の事業取り組みに良い影響を与えると思う。   |
| 273 | 国、県で取り組むべきこと。  |
| 274 | 国、県の援助が減っている中予算をどう取っていくかが難しい。育児をサポートする人（ボランティアの活用も含め）の確保等実施するにはその他の課題が多い。  |
| 275 | 国で策定した指標はそのまま町で使えないものが多い。独自の指標を考え具体的な事業内容へつなげるような計画を考えたい。  |
| 276 | 国として母子保健の方向性が示され市町村としてもそれを踏まえ町の状況を把握し、今後検討していきたい。しかし、ハード面では国、県あるいは広域での取り組みが必要と思われるものがある。県として健やか親子21に当面取り組みができない状況だがどこまで市町村が取り組めるのか少し不安。                                |
| 277 | 国として予算措置を検討すべき。  |
| 278 | 国の計画であるため地方公共団体が取り組む内容の中の主体に国、県、市町村等が混じっており市町村レベルで進めていく具体的な内容が分かりにくかった。  |

|     |  |     |   |
|-----|--|-----|---|
| 279 | 国レベルの問題と市町村レベルの課題や取り組み点とは異なる点があるから、そのまま取り入れるのは難しい。   |     |   |
| 280 | 国民運動という捉え方が難しい。  | 299 | 今後の母子保健の有り方があらゆる面で網羅されていると思うが、所詮絵に描いた餅である。市町村の実情は厳しく少数派の母子に予算をまわす余裕はない。現状維持かむしろ低下の方向にある。  |
| 281 | 国民運動となるように住民に伝えていけるかどうか不安である。  | 300 | 今後当町でも母子保健計画を見直し、国や県の計画を受けた町独自の計画を作成していく必要がある。当町ではまだまだできていない部分があり、今後の課題。  |
| 282 | 国民運動の一つとして各団体も取り組むべきものとして国から示されたのは市町村において地域全体の課題、プランとしてもっといくのにもやり易い。もっと早期に示されると良かった。市町村における母子保健活動は妊娠期からの継続的な子育て支援が中心であるソフト面重視。今後、心、精神問題や思春期の取り組みはきめ細やかな連携支援でありお金はかからないが手がかかる事業が多い。補助対象内容の検討も合わせて欲しい。 | 301 | 今後必要な事業だと思うが具体的には取り組めていない。  |
| 283 | 国民計画と言ってもあくまで国民の代表者が作ったものなので町民一人一人のものとして理解してもらるのが難しい。健やか親子21をどのようにPRすればいいかわからない。   | 302 | 今行っている事業の中で「健やか親子21」に関する取り組みを取り入れながら実施していくように努力していきたい。  |
| 284 | 今、じっくり内容を把握していないので町の状況を踏まえた取り組みの中に生かせたいと思う。  | 303 | 今実施している事業を見直し少しでも健やか親子21に関係する内容をどう取り入れていくかを保健婦レベルで検討。母子保健計画の立案も考えているところだが計画にあたって客観的にアドバイスしてくれる専門家がいたらと思う。                                       |
| 285 | 今、虐待が問題になっているが育児担当者が不安を表出できる場、安心できる場、仲間づくりの場としても健診が活用できるように工夫していきたい。   | 304 | 今年市では、母子保健計画を見直し策定しており健やか親子21との整合性を取りながら当市の計画に反映させていきたい。  |
| 286 | 今、健康日本21計画策定をしている。この中にも母子関係の施策を入れる予定。幾つも計画ばかりで良いのかと思っている。  | 305 | 今年度、市町村母子保健計画の見直しがあるが健やか親子21を参考にし町として重点を置きたいことを盛り込んだものにした。  |
| 287 | 今ある計画をまとめたものとドッキングさせて少しずつ取り入れていきたい。  | 306 | 今年度、市町村母子保健計画の見直しがあるが健やか親子21を踏まえた計画にしたい。そこで計画策定にあたっての研修を開催して欲しい。  |
| 288 | 今まで、母子保健事業面については、行政あげでの取り組みはなっていなかったが（老人保健事業にみんな力を注いでいた）この健やか親子21ができたことで他部署との話し合いの場も設けることができ、とても予算面でもとりやすくなるなど担当者としてはとてもよかった。思春期についても、今までなかなか踏み込めなかったのを、これを機に検討していきたいと思案中。                           | 307 | 今年度が母子保健計画の見直しで、育成計画と一緒にコンサルティング会社に依頼した。どのように取り組んでいけばいいのか悩んでいる。   |
| 289 | 今までの「絵に描いた餅」的な計画と違い現場で感じることが文章化されていて大変分かり易く、考え易い。ただ、市単独では考えにくい部分も多いので県、保健所の指導に期待している。  | 308 | 今年度見直しの母子保健計画に健やか親子21の視点を盛り込み健康日本21策定時にも「健やか親子21は母子保健計画で網羅されている」と明言したいが、H9年度の母子保健計画を少し見直しする程度でよいのではないかと上司のもとで戸惑っている。                            |
| 290 | 今までの行政中心から住民、他機関と共に同じ方向を目指していくヘルスプロモーションを実行していく時と改めて実感した。実際に今までの事業をこなしてきて母と子の多様性から常識と思っていたことがそうではなくなっていることを実感している。画一的な指導だけでは限界がある。本当に初めの一歩から何をしていく時なのかお母さん達と一緒に話し合い考えていきたい。                          | 309 | 今年度中に母子保健計画見直しをし計画を策定する予定なのだがまだ手が着けられないでいる。   |
| 291 | 今までの保健部局だけの業務の推進だけでなく、社会教育、学校教育、福祉サイド等、心身の健康プラス「社会的にも」の為に幅広く、なおかつ十分な連携と役割の明確化の必要性を感じている。   | 310 | 今年度母子保健計画の見直し時期でありその中に健やか親子21を盛り込まなければならない。どのように盛り込めばいいのか検討中。   |
| 292 | 今までの母子保健事業を見直す上での重要なヒントとなると思う。   | 311 | 根本的なところに母子保健の取り組みがいかに重要かを考えさせられる。ひとりひとりを大切にしたい母子保健対策に取り組みたいが現状ではマンパワー、予算、使節等问题が山積みである。  |
| 293 | 今までは老人保健ばかりが優先されてきた印象がある。健やか親子21をきっかけに今後は母子保健に力を入れる時代になることを期待している。   | 312 | 最近の母子保健は親の育児不安や産後うつ等精神的な問題を抱えている人が多く、その対応が強く望まれている。専門的なカウンセリングや精神科的治療も必要だがその方面での医療が整備されていないように思う。また、保健婦、栄養士のみならず学校や教育委員会など幅広い分野の協力が必要だが、これが難しい。 |
| 294 | 今まで行政主体の行動計画中心だったがヘルスプロモーションの視点から具体的に示され取り組み易い。あまり行政として取り組みにくかった部分（分野）についての方向性が具体的に示されているので取り組み易い。   | 313 | 最近はいろいろな分野で育児支援策が行われているが情報が一本化せず連携がうまく取れていないように思う。国民計画運動として実施するならばそういったシステムとしての機能をしっかりして欲しい。  |
| 295 | 今まで母子保健計画が事業中心に立てられたものだったが健やか親子21を踏まえての計画ということで基本的考え方も違い、計画の立て方も違う中で十分に解釈できないまま一年で行うことにジレンマを感じる。関連部署への説明、連携が思った以上に難しい。   | 314 | 最近では虐待や不登校など新たな問題が出ている。乳幼児期の育児に問題があると言われるが親の考え方も以前と変わってきているため社会全体が変わらなければいけないと思う。   |
| 296 | 今回のアンケート結果及び先駆的に取り組まれている事業内容、実施方法など分かったら教えて欲しい。  | 315 | 最新の保健医療に関する資料をはじめ思春期保健、育児情報などできるだけ多く、早く届けていただきたい。住民に配布できるパンフレット等を無償配布してくれば町としては助かる。健やか親子21をPRするものではなく具体的に育児不安を軽減できるようなパンフレットの方が活用しやすい。          |
| 297 | 今回のように健やか親子21の策定や母子保健事業の見直しをすることはとても良いことだと思う。しかし、市町村の総合計画、その他の計画や市町村合併との関係等あり策定の時期を全国一律にするのは無理がある。   | 316 | 細やかな数値目標などが出ているが実際に実現するには不安がある。それぞれの自治体により事情が異なることも十分考慮した上での計画であって欲しい。  |
| 298 | 今後の少子化に向け大変重要な課題だと思うが実際どこから手を着けていくべきか、また、他機関との連携をどのように取っていけばいいのか、いつから実施するのか等具体的な所  | 317 | 策定した計画を住民によく理解してもらうことが重要。住民が果たすべき目標を住民参画で進めていくことがねらい。   |
|     |  | 318 | 策定の段階から現在のPRに至るまでを通じ市町村への説明の機会をもう少しもって欲しい。  |
|     |  | 319 | 仕事を待つ母親、育児への育児支援の充実。（職場の環境、保育施設の充実）   |

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 320 | 子どもたちの成長が心配である。(殺人や事件が増加)その根本的原因を取り除き健康に暮らせる手伝いをしたい。子どもの教育だけではなく大人のあり方も考えていきたい。   | 342 | 市町村独自の特徴あるものにできればよいと思う。   |
| 321 | 子どもの育ちや親の支援をしていく環境の整備をしていきたい。   | 343 | 市民がこの計画は自分達の育児や健康に大事な計画であると思ってもらうためにはどうしたら良いか。  |
| 322 | 子どもの視点、子どもの立場を重視した社会を作るにはどんな動きを起こしたら良いのかいつも考えている。   | 344 | 市民健康課以外の関係機関である福祉、医療、教育等との連携を図りながら母子保健対策の必要性を感じている。   |
| 323 | 子どもの少ない村であるため個別の対応を深めていける部分もあるが団体(学校現場)への働きかけが難しい部分も多くある。村に添った形で取り入れていければと思う。そのため人口規模や環境等の似た市町村との情報交換や情報を得られる場所があれば良いと思う。                             | 345 | 思春期からの問題を取り上げいく重要性をしっかりと押さえてあると思う。他機関、教育委員会ともしっかり連携が取れるように上の人の理解が必要であると考え。  |
| 324 | 子どもはおとなの考え方や行動に大きく左右される、弱い存在であることをまず、おとなが十分理解することが大切だと思う。遅く、健やかな心を育ててあげる努力をまず大人がし、大人自身も自ら見本となる努力をしなければいけないと感じる昨今である。                                  | 346 | 思春期については白紙の状態なので取り組んでいくのは非常に難しい。  |
| 325 | 子どもを安心して産み、健やかに育てることを目標に母子保健計画の見直し中。一生懸命読ませてもらっている。   | 347 | 思春期に関しての取り組みを始めるにあたって学校への介入が必須であるが難しさを感じている。他機関との連携を十分に取れながら事業を進めていきたいと思う。  |
| 326 | 子どもを取り巻く環境をよりよくしていくことは大切だと思う。親が安心して子育てするために医療の確保という面も一つ大事な部分だと思う。本町でもそれが一番の親の心配の種となっている。町独自では難しい面もあるが広域で考えられるよう体制整備(施設面、保険点数等の見直し、人材育成確保等)を進められればと思う。 | 348 | 思春期に関する問題について学校との連携が難しい。学校に相談しても「では、保健婦さんがして下さい」といつものように行政に全部押しつけられそうで怖い。   |
| 327 | 子どもを取り巻く関係機関との連携をはかりながら取り組むことが大切と考える。各機関で既にプランが作成されている部分もあるので、町の特性を生かしていくことも必要と考える。   | 349 | 思春期に対する施策は学校との連携が必要となりなかなか難しい。現状さえ十分に把握できていないので計画や目標を設定するのは更に難しい。業務を少しずつ整理し新しい事業に取り組んでいかなくてはと思う。  |
| 328 | 子育ての不安や悩みが軽減し、楽しい子育てが地域でできるよう支援するため、地域住民や関係者が一体となって取り組めるような体制の整備と環境作り支援に努めることが重要と考えている。   | 350 | 思春期の意識や心の問題など慣れない分野が難しい。  |
| 329 | 子育てを第三者がサポートしていく必要が多いと考えられる現在、このような計画の大きな柱として謳ってある事は市町村において、対策を立てる際の根拠の一つとなり良いと思う。  | 351 | 思春期の項目が加わり妊産婦、乳幼児中心の母子保健から現状をふまえた上での思春期へもっと目を向けた保健活動を行う必要があると感じた。   |
| 330 | 子育て支援の関する計画ということのみで詳細について理解できていない。  | 352 | 思春期の子どもたちのことがよく問題にされるがその子達も数年の間に親となり再び関わるのがよくある。3歳までの間が大きく関係するなど聞くとう親子への支援をしていけばいいのか、乳幼児期から学童期へどのように連携を保てばいいのか、小さい町ではフォローの受け皿をどう作ればいいのか問題が多すぎて頭を悩ませているのが現状。今後も各分野での情報を教えて欲しい。 |
| 331 | 市のマンパワーも含めて検討し実施の優先順位を決める必要があり実現するまでの道のりは近いとは言えない。  | 353 | 思春期の分野への取り組みが非常に難しい。  |
| 332 | 市の母子保健事業だけでなく医療、教育分野の比重も大きく取り組みには関係機関との連携が重要と思う。  | 354 | 思春期の保健対策について今後学校保健との連携が重要になる。これからの取り組みを積極的に進めたい。  |
| 333 | 市町村ではすでに実施していることが多く、今自分たちのやっていることが健やか親子21でもっと充実していければいいと思う。県や国単位で取り組んでいきたい項目が多いと思う。   | 355 | 思春期の保健対策のためには、学校との連携が重要なので厚生労働省、文部科学省という枠をこえて、健やか親子21を広く推進してほしい。  |
| 334 | 市町村ではなく広域や二次医療圏でしかできないものも含まれているため困難である。思春期対策など学校と連携していかなくてはならないのに健やか親子21自体知られていない。もっと文部科学省からもPRして欲しい。目標値だけではなく具体策も示して欲しい。                             | 356 | 思春期の保健対策や健康教育が掲げられているが実施にあたり教育委員会、学校長の理解協力が大きいので文部科学省の強いバックアップが必要だと思う。  |
| 335 | 市町村で推進できること、県でできること(広域)等を検討しなければ予算体制も実施体制も困難になると思う。健やか親子21に思春期保健が入ったことで更に教育分野の連携と乳幼児の子育ての原点、子どもへの関わりを見つめ直す必要性が再確認されたと感じている。                           | 357 | 思春期の問題に関して学校とどのような協力体制を取ればよいか、できるか不安に思う。  |
| 336 | 市町村としての具体的な取り組み方、目標値の設定が難しい。保健分野のみならず学校関係者等他分野への啓蒙普及が進んで欲しい。  | 358 | 思春期の問題は範囲が広く教育現場の役割が多く母子保健計画に載せると難しい面が多い。   |
| 337 | 市町村の母子保健は思春期保健との連携が必要と思うが、すぐに教育委員会と事業を組むことは難しい。国、県を下ろして欲しい。   | 359 | 思春期への取り組みはとても重要なことだと思うがすごく幅が広いと感じる。生活習慣や心の問題を考えると乳幼児から関与するし性や薬物、喫煙、また閉じこもりは何歳までフォローしたらいいかわからない。思春期の親の年代を考えると更年期で不安だったりどこまで関わっているのか不安を感じている。                                   |
| 338 | 市町村の母子保健計画も含め、事業実施に関わる人員の確保がスムーズに行くよう取り計らってもらいたい。   | 360 | 思春期対策が重要であり教育委員会との連携を痛感している。現在実施している乳幼児健診、相談の内容見直し。   |
| 339 | 市町村への助産婦職の配置を法令化して欲しい。  | 361 | 思春期対策などは学校との連携が必要。学校側がどれだけ理解しているか、学校、病院等の機関に対して国からどのような働きかけがされているのか。目標が多過ぎるものもあるので町レベルの目標を立てねばと思う。  |
| 340 | 市町村レベルではI、IVに力を入れていこうと考えている。母子保健計画との兼ね合いを考え盛り込んでいきたい。   | 362 | 思春期対策についてはこの仕事に就いてからずっと推進したいという思いが強かった。養護教諭がやっと変わり校長や養教のもと4年前より小学校4校、中学校1校において推進に委員会が設置され共に取り組める環境になった。また健やか親子21でもその対策が唱われ一層取り組みに重要性が出てきて、やり甲斐が出てきた。デスクプランにならないようにしていきたい。     |
| 341 | 市町村独自でという点で母子に必要なものを見極めていく必要があると思う。客観的に外部の専門の方に現状に合った計画をどのように立案していくのか等教えてもらいたい。   | 363 | 思春期対策については教育委員会等との連携が必要と思われる。しかし、小さな市町村では事務職の対応のため唱えている内容について十分な理解を得ることが難しい状況。医療、福祉関係については専門職も多いため理解、協力、連携が図りやすいと感じる。   |

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
| 364 | 思春期対策については県の教育委員会から市の教育委員会に話を進めて欲しい。今まで思春期は保健所となっており保健所からは学校との連携の難しさや養教の資質に差がある等の話を聞いている。  | 383 | 指標の目標値、国、府、市町村の状況の値をまとめたものがあると良かったし、それがはっきりしてから各市町村の計画を立てた方が効果的だと思う。健康日本21に組み込んで一つのものをもとめた方がよいと思う。   |
| 365 | 思春期対策の強化を推進していく上で他の関係機関との連携をいかに図っていくかが課題。  | 384 | 指標設定をして、評価しやすくはなるのだが、現実の状況を変化させていくためにどのように取り組んでいけばよいのか（どこから手をつければよいのか）わからず、苦しさを感ずる。地方の小さい村の固定概念を変化させていくことへの困難さを感じている。                                    |
| 366 | 思春期対策等、他課（機関）との連携も必要となるが、十分に理解を得られない状況もある。   | 385 | 私のいる小さな町では（人口4,500人）子どもの数が少なくどうしても優先されてしまうのは高齢者対策である。健やか親子21はとても大切なことだと思っているのでいろいろな情報が欲しい。   |
| 367 | 思春期分野は学校にも示されているが分からない。示してくれるとありがたい。主となり町が協力体制をとればやり易い。  | 386 | 私自身健やか親子21を含め母子保健には興味を持っている。我が町では「健康日本21」の計画、推進が中心となりあまり関心がないよう。また、お年寄りのサービスを充実し力を入れているが子育て支援等母子保健に関してはまだまだという感じ。  |
| 368 | 思春期保健に対しては学校側が主となるので行政としては入りづらい傾向がある。子ども、両親の精神的な面を充実させたいと思うが専門的な人が少なく情報が得られない。   | 387 | 事業に取り組んだ方がいいという思いと、近い将来を考えると今立てなくてもという思いがあって消極的。   |
| 369 | 思春期保健のことにしてもっと養護教諭の活動を活発化すべきだと思う。保健婦が学校のことまで手を出し過ぎず養護が主体となって活動すべき。なんのために養護がいるのかわからないと思うことがよくある。  | 388 | 事業の中で学校現場、医師会、助産婦等の協力を必要とする部分が多いと感じる。話をしても知らず、初めから話さないといけないことばかりなのでもっともっと情報や研修会に中にも取り入れて他職種にも理解して欲しい。  |
| 370 | 思春期保健の強化について中高生への保健教育を推進していかなければならないと思うが従事するスタッフの力量にも差があり研修は重要と思う。また関わるスタッフ（医療、学校教育、保健）がどう役割を担うか連携は必要である。いずれにしてもマンパワーがネックであり小児精神科医の増員、スクールカウンセラーの増員など専門家の増員は必要。  | 389 | 事業展開について既存で実施の子育て教室に育児不安対策、虐待予防という視点を更に強くもって取り組んでいきたいと思う。健やか親子21をまだよく理解していないので自分の町にどのように取り入れられるかわからない。   |
| 371 | 思春期保健の取り組みを行っていきたいが学校との連携が図りにくい。教育現場がどの程度健やか親子21を認識しているのか。   | 390 | 児童虐待などマスコミには取り上げられているが本町ではそれに対する取り組みが行われていない。もし、対象者を把握できたとしても家庭にどう介入していけばその子を救うことができるか、今のところは具体策が出てこない。  |
| 372 | 思春期保健の重要性は痛感しているところだが学校との連携は難しいものがある。もっと県教育委員会からも熱心に末端まで指導して欲しい。   | 391 | 時間が足りないが今回は住民（子ども、大人）参加型を重視し2年かけて準備中。  |
| 373 | 思春期保健対策については必要と思われるが、学校等他機関との連携がむずかしそうである。   | 392 | 時代に沿った部分が盛り込まれ具体的であると思う。しかし、4つの課題に分けた時の具体的な対策が混同する部分があり分かりにくい。   |
| 374 | 思春期保健対策の強化が掲げられているが思春期に至る以前の幼児期、学童期に生命の尊厳をしっかりと体得し他者や自分を大切に思いやる心を育む教育システムが重要。思春期からの対応では遅いと感じる。   | 393 | 次回母子保健計画には健やか親子21の内容を取り込みたいと考えている。   |
| 375 | 思春期保健対策の必要性を感じている。それには学校の養護教諭との連携、学校の理解が重要であるので、学校への働きかけをお願いしたい。   | 394 | 示されていることは本当にとっても大事な事だと思うが地方では特に利用できる機関、相談できるスタッフ等も含め基盤が殆どできていない。   |
| 376 | 思春期保健対策はとても重要だと思っていたので健やか親子21に取入れられたことは良かったと思う。今後、より一層学校保健との連携等が必要になると考えられるがスムーズに進めていけるよう学校保健関係者への十分な周知等を国、県レベルでお願いしたい。  | 395 | 自治体としての計画立案と自分自身が取り組みたいと思う事業がうまく咬み合わない。また、その基盤も薄い。基盤整備は保健分野だけでできるものではないし他課との調整を考えると計画立案、実施は困難極まりない。  |
| 377 | 思春期保健対策は以前より取り組んでいる県とそうでないところに大きな差があると思う。取り組んで成果を上げている県の取り組みを参考にしたい。計画を立てて実効性のあるものにするには専門職の増と事業の見直しが必要であるがかなり難しそう。   | 396 | 自分の町に何が必要なか。切り捨てるものは切り捨てる潔さが必要になると思う。  |
| 378 | 思春期保健対策や児童虐待等で学校と連携を図りながら進めているが学校や教育委員会の協力を得ることが難しく連携を取ることに困難さを痛感。   | 397 | 自分の町の特徴を大いに出してというのが国から提案された4項目について実現可能なものを優先的によりきめ細かい事業や施策について取り組む予定。しかし、要望としては計画が幾つもあるよりライフステージ別に一つあった方が常に全体の中の母子とか障害者、高齢者とかを意識でき見直し等もやり易いのではないかと考えている。 |
| 379 | 思春期問題への取り組みを厚生労働省、文部科学省協力のもとに進められたことは画期的なことであると同時に、いかに難しいかということを感じた。末端の市町村においても同様。組織上連携し合わなければ子どもの個々の問題について継続的に見ていくことができない状況であるが、お互い踏み込まずに行きたいところがあるのだと思う。母子保健の立場としては乳幼児期でできることに限定して考えていくことを第一段階としている。 | 398 | 実現できれば素晴らしい計画だと思う。地方自治体に対する人員削減が言われる中実現は難しいと考える。   |
| 380 | 指標となるデータが小さな町では把握しきれないところがある。  | 399 | 実施したいことが実施できるとは限らず限定されてしまう。  |
| 381 | 指標となるものの項目がお粗末。このような数値に振り回されないようにしなければ個別対応の大切さを忘れてしまいそう。数値化し難い部分に評価の要があるかもしれないと自分を戒める思いだ。日本の母子保健が本質を見失わないようリプロダクティブヘルツそのものが浸透するような指標が提示されるとよいのに。   | 400 | 実施している市町村の状況をまとめたものがあれば情報提供してもらいたい。参考にしたい。   |
| 382 | 指標の設定が難しい。各市町村で集まり考えたが各行政区でばらつきが出る。  | 401 | 実施するにあたり形にとらわれず、その自治体らしい実施の方法を行ってほしいと思う。数値だけが評価ではない。   |
|     |  | 402 | 実施済みの事業を整理し、関係機関との調整をしたり内容の見直し等で新たに事業を立ち上げなくてもある程度近づくとと思う。関係機関でフィールドを1つにしてよく話し合えるかどうかのポイント。  |
|     |  | 403 | 社会、家族構造の変化に伴い虐待や様々な問題が出ている。今後、目標数値を参考に業務を推進していきたい。   |

|     |   |     |  |
|-----|---|-----|--|
| 404 | 主要な4つの課題に対して環境、整備、体制づくり等他関係団体との連携なしでは進められない。一つ一つ地道に築き上げていくことで効果がでてくると思う。母子保健に係る各部署で何ができるか話し合い検討する事が必要。その中で住民の持っている力を大切にしたい。   |     | ごとの取り組み、県での取り組みを重点に置きたいところ。  |
| 405 | 主要課題ごとに現在の問題点や目指すべき方向が示されていて母子保健に携わる中で私達が何をなすべきか考えさせられる点が多かった。しかしながら保健課だけでは解決できない問題も多く他課や学校教育、医療等とのように連携していくのか、また、問題解決に向けて具体的にはどのように取り組んでいけばいいのか難しく感じる点も多く今後考えていきたいと感じた。              | 424 | 出生数が20人程度なのでデータを比較するのが難しい。目標値など挙げられないものもある。  |
| 406 | 主要課題とそれに対する目標値ばかり提示されていてそれを国、都道府県、市町村がどう連携していけば地域の水準をあげることができるのかのビジョンが見えにくい。  | 425 | 出生数が少なくなり、他の分野（介護保険）に重点が置かれ事業縮小等、母子保健は軽く捉えられているように感じる。   |
| 407 | 主要課題に思春期の保健対策の強化と教育の推進が挙げられうれしく思っている。当町では養護教諭と共に思春期の子どもやその保護者を対象にした事業を立ち上げ実施してきたが教育サイドとの考え方の相違や、どうして学校の事業をしなくてはいけないのかとの上司の考え方などその事業を維持することに大変労力を要した。健やか親子21の中に盛り込まれたことで事業がやり易くなるかと思う。 | 426 | 出生率が激減しており事業の実施が困難な状況がある。必要性は十分に分かるが集団での事業の展開が小さい町では難しい。事業の持ち方、方法等の工夫が求められていると思う。  |
| 408 | 主要課題に思春期の問題が挙がっているが保健関係者だけではなく学校関係との程度足並みを揃えてやれるようになっているのか。認識、周知もどの程度なのか疑問である。  | 427 | 出生率が少なく事業を実施したいがなかなかできない。  |
| 409 | 取り組みにあたっては保健分野はもとより福祉、教育の分野でそれぞれ実施している事を連携させることで目標に一步近づけると思う。   | 428 | 女性が安心して妊娠、出産、育児ができる環境づくりの推進を図りたいと考えている。  |
| 410 | 取り組みの必要性は感じているがどういう形で取り組めばいいか。現スタッフの中で取り組むにはどこを重点的にすべきか。検討していかなければならないことが多く、まだ取り組めていないのが現状。   | 429 | 小さい町では対象が少なかったり専門的な人材の確保がしにくい。この健やか親子21にあげている事業が整備されると育児が安心してできる世の中になると思う。   |
| 411 | 取り組み課題等が抽象的である。住民に浸透していない。  | 430 | 小さい町なので健やか親子21の課題順位とは多少異なるが近い将来の問題もあり考えさせられた。  |
| 412 | 取り組むべき課題が医療体制の整備、思春期保健対策強化、虐待予防等保健、医療、福祉、学校等各分野に及んでおり推進していくための部署が明確化されていない。   | 431 | 小さな市町村ではスタッフが少なく現在の事業を実施するので精一杯。必要性は分かっているが町民や有識者を巻き込んで町としての方向性、目標値など出すことは現在のスタッフ、町職員では相当負担になってしまう。できれば町村合併単位で検討していければと思う。                             |
| 413 | 取り組む範囲が広く小さな町では対応が難しい。もっと県と足並みを揃えて作成したい。  | 432 | 小さな市町村ではスタッフの数も限られ国の指示通りの活動はできない。また、母子保健のみ担当しているのではなく子どもから老人のすべてを対象しているためどちらかということ老人向けの対策に力が入っている。新たな予算等難しい面もあるのではないかと。保健所等が中心となり広域で各事業を行う方がよいものではないか。 |
| 414 | 取り組んでいかなければと焦りつつ毎日流されている。指標ごとに町での現状を把握し目標を設定、クリアに近づけていきたいと考えているが現実とのギャップに悩んでいる。   | 433 | 小さな村なので母子情報や学校情報など常に把握できる状況。事業を推進するにも学校関係、医療関係者と連携を取りながら実施するのは可能。しかし、小児の数も少ないことから連携の事業となると予算もさほど要らず実際に事業を行っていても予算として上がっていないため実績として上がらないようなところがある。      |
| 415 | 手がけていないので気がかり。  | 434 | 小さな町でも取り組み易いような内容で打ち出してもらいたい。  |
| 416 | 周知の徹底が各県によって違うのか。全国的に取り組みが偏っているのではないかと。高齢社会対策ばかり先走っていた近年の保健行政から視点が母子保健に向けられたことを非常にうれしく思う。しかし、都会的事情を背景にした施策のような気がする。過疎地の親子の暮らしが支えられ守られるものなのか。  | 435 | 小さな町のため全てを取り入れることは難しいが優先順位を考え実施していきたいと思う。  |
| 417 | 住民の一番身近な市町村の役割と広域的立場の役割とは異なるので、市町村独自で計画を策定するのは当たり前だと思う。しかし、考える視点等示唆して欲しい。   | 436 | 小さな町村では今の事業の整理が先ず第一。   |
| 418 | 住民参加をどのように進めていくか、関係機関との連携と言われても煩雑な毎日で連携できない状態をどのようにしたらいいか考え中。   | 437 | 小さな町村なので合同で実施できればと考える。   |
| 419 | 住民参画を基本とするものであるが現状は難しい。母子担当者や関連スタッフの視点から見た内容になってしまう。積極的に策定委員を希望する人はいないし、委員会でも活発な意見などは出ないと思う。  | 438 | 小規模市町村で取り組みやすい面もあるが逆に環境面で難しい面も多くあり、事業の取り組みが難しいと感じている。  |
| 420 | 住民全員でゆとりを持って子どもを生み育てる環境作りができればよいと思うが、なかなかそこまで達成せず、行政だけが動いているのが現状。今後は母子保健計画を知ってもらえるよう、住民を巻き込んでいきたいと思う。   | 439 | 少子化、核家族化、住民間のつながりの希薄化などから育児不安の増加や子供の心の発達に何らかの影響があるように感じている。健やか親子21は今後の町の母子保健対策上重要と思われるため他の業務の兼ね合いを考え徐々に実施していきたい。実施、検討に当たり他県市町村の実施状況の情報提供が望まれる。         |
| 421 | 十分に把握していない。   | 440 | 少子化で子どもが少なく事業としての展開が難しい。他市町での情報が知りたい。  |
| 422 | 十分に理解していないのが現状。県からの説明もまだ十分ではない。   | 441 | 少子化と高齢化が同時進行しており重点課題は福祉（高齢者）の方が注目を浴びている感じがする。出生率連続全国最下位の当県であり貴重な出生、育児をあらゆる角度からうまく支援してあげたいと思っている。   |
| 423 | 従来の母子保健計画の見直しを含めまだP-Pモデルの学習中であり具体的施策まで行き着くまで時間がかかる。しかし、今ある母子保健計画の中で事業先行して実施している所もある。また、一番の問題である小児保健医療水準に関する環境整備について町単独で取り組むことが非常に困難であり圏域  | 442 | 新しい事業を展開するには、それに要する時間や人的なもの予算等が満たされなければならない。国や県の補助的なものがほしい。  |
|     |   | 443 | 新規として事業を興すことは難しいが既存事業を見直しその中に盛り込んでいきたいと思う。今まで以上に学校保健との連携が大切になってくるが連携を図っていくことが難しいと感じる。  |
|     |   | 444 | 新母子保健計画策定にあたっては、健やか親子21をどこまで盛り込んで作成するか各市町村によって異なるとは思いますが、とても苦慮している。よきアドバイス、御意見等聞きたい。   |
|     |   | 445 | 人口1500人余りの村で出生数も年間10人に満たない所でも育児に対する不安や思春期の問題は場所を選ばない。地域の母子保健に対して見落とされることのないようにしているところで、今回の計画見直しもどこまでやれるか頑張りたいと思う。                                      |
|     |   | 446 | 人口2000人、高齢人口が高い。このような現実の中で市町村に合った実働性のある計画は大変難しい。   |

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
| 447 | 人口規模も小さく出生数が減少していく中で、どれを優先すべきか悩んでいる。   | 474 | 地域の特性を生かしたプランニングが必要であるが現実には「理想はあくまでも理想」でなかなか困難。  |
| 448 | 人口数千人の町で実施していくには内容が幅広くどれに重点を置いて取り組むべきか、現在検討中。  | 475 | 地域の母子や子どもたちの育ちを支えていくためには保健部門だけでは無理だと思う。福祉の部分でのサービスをもっと考えていく必要がある。そのためにはマンパワーやソフト面とハード面が必要になるのもっとそれらの施設がやり易いものを発表して欲しかった。栄養と歯に触れていないのはどういったことなのか、とても大切なことなのに。 |
| 449 | 人材や業務量などから今以上に事業を増やすのは困難だと思う。  | 476 | 地域性の問題もありなかなか子育ての関心が高まらない。地域での連携（学校、HC、園など）も不十分。今後、健やか親子21を機に横のつながりを持ちつつ地域と一緒に子育て支援への意識を高めていけるよう努めていきたい。   |
| 450 | 推進のためには各関係機関、担当部署のつながりネットワーク化が重要と考える。特に、学校においては常勤の医療関係者は養護教諭のみであり連携体制や学校関係への参入も必要かと思われる。   | 477 | 地域保健関係者が思春期保健に取り組むには、従来からの取り組みを参考にしながら慎重に行わなければならないと思う。  |
| 451 | 数値目標が提示されたことと環境づくり地域づくりが含まれたことはとても良いことだと思う。〇〇村バージョンの健やか親子21、「エンゼルプラン」をミックスさせたものを作成していきたい。  | 478 | 地区の子どもの実態、親の実態を他の関係機関と連携の上把握し実態にあった事業に取り組んでいかなければと感じる。   |
| 452 | 精神的なフォローの部分の目的が多く目標設定、達成率が難しい。   | 479 | 地区保健推進員（母子保健推進員）を核として地域全体で子育て支援を展開していきたい。  |
| 453 | 先進的に計画を立て実践されているところの事例（活動）の紹介をして欲しい。相談先、連携を取っていったらいい機関等の情報が欲しい。  | 480 | 地方では出世児も少なくなってきた。あまり大きな問題はないが段々と親の教育が大切になってきている。   |
| 454 | 専門職に止まらず町全体で取り組むためには上司にもきちんと理解してもらえよう広報活動を行って欲しい。  | 481 | 地方では必要性を感じない。  |
| 455 | 全国で取り組んでいる事例等教えて欲しい。   | 482 | 地方は施設や人員の不足等で、一時預かり所など、実施したいと思う事業もままならない状況。住民からいろんな要望はあるのにならざるを得ない今の現状に歯がゆいと思っている。   |
| 456 | 早く取りかからなければと思いつつ他事業で手つかずの状態。文献、指標を見ている段階。  | 483 | 着任したばかりなのでもっと勉強していきたい。   |
| 457 | 相談できる身近な場を必要とする人が増えており新しいネットワークづくりの必要性を感じます。   | 484 | 柱のⅡ、Ⅲについては市で行う。  |
| 458 | 総論については社会の状況として参考にさせてもらう。具体的目標、取り組みは町の実情と重ならない部分があるので母子保健計福祉画を優先している。  | 485 | 町でのエンゼルプラン、母子保健計画は現在検討中でH14年度に策定予定。健やか親子21は町レベルで捉えにくい面がある。計画策定の参考にはしたい。  |
| 459 | 村に保健婦が一人であり優先順位としては低くなっているのが現状。  | 486 | 町では教育委員会と連携し取り組みの準備をしている。県、国も厚生労働省や文部科学省等での連携や役割をしっかりと欲しい。それぞれの町で進めやすいように広域的な連絡調整や情報提供を望む。   |
| 460 | 他にもいろいろな計画等があるので、一人がいくつもの事業を担当している小規模市町村担当は大変である。  | 487 | 町でも母子保健計画を策定して取り組んでいるところ。健やか親子21と母子アンケート結果、お母さんたちの声を参考にできるところから取り組んでいきたい。また、母子保健には様々な分野が関わっているが健やか親子21はそれぞれの機関の役割が明確化されているので連携を取りながら進められればと思う。               |
| 461 | 他の市町村の取り組み状況を知りたい。   | 488 | 町で抱えている課題を健やか親子21と母子保健計画へどう取り入れれば最善なのかまだ考えているところ。母親の不安がなく楽しく安心して育児に取り組めるよう母子関係も含め地域全体でサポートできるような検討していきたいと思う。   |
| 462 | 他の政策、計画等へのシンク方法について具体的にどう動けば良いかわからない。  | 489 | 町として取り組みできそうな思春期の分野について、学校と教育委員会と話し合いをすすめるはじめるところであり、この健やか親子21が策定されたことが契機であり母子保健計画の見直しにも生かしていきたい。  |
| 463 | 他市町村の具体的な策定状況及び本調査票結果を早めに知りたい。   | 490 | 町の施策として母子保健を考えていく基盤がきちんとできていないのが現状。今後十分な時間をかけて検討していく必要があると思う。  |
| 464 | 他職種（養教等）との連携が必要。   | 491 | 町の実情に合った施策を考えていきたいと思う。   |
| 465 | 第2章、第1節思春期については保健分野というより教育機関が主になるものであり学校の体制の充実が大事。第2節、第3節に関しては医療の問題が大きいため県レベルで環境整備が図られるべきもの。市町村レベルで推進するとすれば第4節の「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」でありこれを推進する事が思春期の問題の改善につながるものと思われる。 | 492 | 町の状況に合わせた内容にしていくため検討が必要。   |
| 466 | 単町では予算、マンパワー、業務量の増加による時間的余裕等の事情により健康日本21地方計画立案等健やか親子21の計画、実施が困難な現状。また、住民に身近な町村が主体的に実施しなければならないのは否めないが県からの情報提供や指導助言が不足しているので、今後再検討して欲しい。                                    | 493 | 町の保健事業の中に取り組んで実施していきたいと考えている。  |
| 467 | 担当になって日が浅いので、通常の業務をこなすのが精一杯で、意見等を言える段階ではない。  | 494 | 町の保健婦としては健やか親子21は意義有ることと思うが新しく事業として取り上げるには今ひとつ腰が上がらないの現状。仕事の量、マンパワー不足等。  |
| 468 | 地域での普及啓発を行うことが必要であり、皆で協力し合いながら取り組めるようPR活動を行うことから始めたい。目標に向かって具体的にどう取り組むかが検討課題。  | 495 | 町財政が非常に厳しい状態で予算確保が難しい。また、保健婦業務も精神事業の委譲等に伴い業務量が増加してきており、新規事業を実施するのが困難。  |
| 469 | 地域に合った母子保健事業を推進していきたいと思っているが、今の現状をそのまま維持していくのか、新たな方法で見直すのか具体的な計画が浮かんでこない。県あるいは保健所等の指導が欲しい。   | 496 | 町村の中で母子、小中学生の人数が少ないことから今のように母子の問題をトップや周りの人が考えているのか悩めない（どの程度重視しているのか）。そのため活動をしていく上で理解を得ることが大切だと思う。その理解を得るための手段や方法を知りたい。                                       |
| 470 | 地域の現状に沿った環境的整備とともに質的な取り組みが少しずつ進んでいる。今後ライフサイクルに応じたトータルな体制の必要性を感じる。  |     |  |
| 471 | 地域の実情に合ったものが関係機関の壁を越え利用する人やサービスを受ける人に提供できれば良い。一般に知らない人が多いので全国的にPRして欲しい。  |     |  |
| 472 | 地域の実態とすり合わない実態もあるので計画に盛り込むことが非常に難しい。   |     |  |
| 473 | 地域の特性を活かした住民が中心で行えるものをもっているが、まずはできることからコツコツとやっていきたい。人づくり、スタッフの確保等問題悩みはいろいろあるが。   |     |  |

|     |  |
|-----|--|
| 497 | 町村規模を越えた内容が多く、その中でできることは何かを整理していきたい。   |
| 498 | 町独自の計画を見直していく際の視点が健やか親子21では大まかすぎて応用しにくい。   |
| 499 | 調査項目についてどの項目の状況を把握していくのか、今後検討しながら調査していきたい。   |
| 500 | 直接市町村で取り組むには難しい内容、分野が含まれており市町村の計画とどここの部分で関与していくのか難しい。  |
| 501 | 的を得たタイムリーかつ重要な計画だと思う。学校や医師会等他機関の理解、協力が必要なのでその方面への働きかけを、府でもしてもらいたい。   |
| 502 | 都市部と農村部では大きな違いがあり、町に合った実施ができるのか不安がある。  |
| 503 | 当市では健康日本21の中に健やか親子21を取り入れたところで現在計画をしている。事務量的にも多くなかなか先に進みきれないのが現状。できるだけ他市町村の情報を収集し参考にさせて欲しい。  |
| 504 | 当市は市立病院があるものの2年ほどで異動してしまう。また、市内の小児科医が少なく医師の確保が課題であった。この計画に期待する。  |
| 505 | 当村については女性の就職率が高い。また、流産する事例が多く妊娠が安定してから届出をする傾向。就職率が高い分、6か月から保育園に入れる人も多い。2週間に1度情報交換に行くがなかなか連携が取れないでいる。   |
| 506 | 当村のように人口規模が小さい村では健やか親子21が漠然としたところがある。どのように取り組んで良いのか分からないところもある。母子保健計画の評価を行い策定するにあたってどのようにしたら良いのか分からない。   |
| 507 | 当町では虐待ネットワークを立ち上げている。その他の項目については育児不安の解消に焦点をあてた計画になると思う。健やか親子21の趣旨を十分に盛り込んだ内容にしたいと思う。そういう意味においては今後の母子保健施策の指針になりうるものと感じている。  |
| 508 | 当町では町民の一生涯を通じてイキイキ健康で暮らすための「保健計画」を策定しており乳幼児や父母の役割を含めたステージで健康づくりの指針、達成目標、数値目標をあげている。健やか親子21と共通の課題もあるので十分に参考にしていきたいと考えている。   |
| 509 | 当町のように年間出生数が20名前後の過疎地では事業としては難しいので個別の関わりが多くなる。   |
| 510 | 当町の状況が分かり易く示せ母子保健計画とも合わせてより実践できる計画にしたいと思っている。そのための進め方をどうしたらよいか。  |
| 511 | 専門の先生の講演に行き、計画策定に多く参考にさせてもらっている。職場ではインターネットがまだできていないので遅れていると思う。メールでこういう先生に質問できたらと思う。   |
| 512 | 同じ市町村でも教育委員会等との連携が取りにくい。   |
| 513 | 独自性ある企画立案の力量不足を実感している。   |
| 514 | 内容が多岐に渡っていることや医療水準等は当町のような小さな自治体は単独では難しい。また、思春期の保健対策については学校現場との連携、調整が必要。母子保健の課題に対する切り口として読み取りそれぞれの現場で現状を分析して本当に必要で可能な課題に取り組むことしかできない。  |
| 515 | 内容は良いが住民のものとして生かしていくのが難しい。   |
| 516 | 内容を十分理解できないので勉強していきたい。   |
| 517 | 日頃より思春期保健対策の強化の必要性を感じていたが他の業務に追われ取りかかることができなかった。今回健やか親子21では主要課題の一番目に取り上げられ身の引き締まる思いで改めて実施に向け努力しようと思っている。そのためには教育部門との連携が必須であるので国でも関係省庁の連携を強く地域において学校との連携がスムーズに行えるよう考慮してもらいたい。 |
| 518 | 乳幼児の健やかな成長や発達、妊娠、出産、育児の支援をできることからやっていきたいと思うが、その評価の方法や基準等を出していくのが難しいと思う。  |
| 519 | 妊娠から就学までの母子対策については保健分野が中心となり行うべきであるが思春期問題は学校教育の対象であることから現状把握も養護教諭等がしている。そのため思春期問題は保健医療分野と共に行うことは必要だがもっと学校保健サイドが中心となりイニシアチブをとって欲しい。そのために                                      |

|     |   |
|-----|---|
|     | は学校医や養護教諭にもっと権限を与えて欲しい。   |
| 520 | 年間出生数50人という小さな町では、スタッフも十分でなく、地理的な交通の便の悪さもあり、育児サークルにしても集まることが困難である。11月15日には合併する予定なので広域としてもよさを持った計画が立案できると思う。   |
| 521 | 年少者による犯罪や虐待など現在の困っている問題から入っていくのではなく子どもや親全ての世代が楽しく元気に生活していくためにはと考えると、とても夢の膨らむやり甲斐のある仕事だと思う。実際には通常の業務も行いながらで時間的余裕がなかったり、予算の確保が難しかったり、関連部署のスタッフ理解を得るのが大変だったりと困難要素が山積み。でも、自分自身がこの町で生活できて嬉しいと思えるためにも町全体が元気になっていくためにも取り組むことが必要だと思う。 |
| 522 | 非常に広範囲なためすぐには困難。また、住民を巻き込み地域を変えていく手案に困る。  |
| 523 | 必要と考えられる事柄で理想ではあるが、市町村単位では困難な点も多い。  |
| 524 | 必要性については理解しているが、予算やマンパワーを獲得することが今の財政状況ではとても難しいと感じている。何も無いところから着手していけばよいと考えるがスタッフのエネルギー不足を解消できないと取り組めないと思う。  |
| 525 | 必要性は感じるが保健婦全体の業務量から優先度を考えた場合健やか親子21を優先できない。思春期対策など学校の問題でもあるが学校に対して健やか親子21がどの程度啓発されているか分からないので取り組むにしてもどう取り組んでいいか戸惑う。   |
| 526 | 平成13年度内でエンゼルプランを立てる。福祉、保健、教育、産業分野等総合的なプランです。数値目標を設定して取り組む健やか親子21に対し、いろんな分野で方向性を示す形式のプランなのでうまく調和させながら健やか親子21の方向性を母子保健分野に組み込むのに悩んでいる。   |
| 527 | 平成8年度に本町で計画した母子保健計画を見直しているところだが5年前と比べ母子を取り巻く環境が大きく変わっているのでそれに合った計画を立てて行かなくてはと考えている。   |
| 528 | 各課題の取り組みの目標は大変参考になった。調査報告について随時情報を提示して欲しい。  |
| 529 | 保健、医療、福祉関係の連携のみではなく教育や環境などを含めた取り組みが必要。しかし、横のつながりが難しいのが現状。   |
| 530 | 保健・福祉の分野にまたがっているので行政の中でも担当をどこにするか難しい。思春期の保健対策の強化は大切だが思うが、学校との連携・地域との連携など困難であると思われるがやはり必要である。  |
| 531 | 保健サイドのみでは行えない。関係者の連携をどう取るか共通理解を得るためにはどうしたらよいか難しいと思う。協議会やスタッフ会議、住民の話し合いの場などこちら側の力量形成も必要。   |
| 532 | 保健計画との整合性を図りながら各課と連携し住民と共に取り組まなければならないと思う。しかし、庁内の連携が取り易いように福祉、教育関係へも積極的に下ろして欲しい。  |
| 533 | 保健行政の立場として特に育児不安の面に関心を強く持つ。相談機能の充実や予防のための子育て教室等虐待が起こる前の段階での事業に重点を置きたいところだが実際には目の前の事例に追われ対策が後手の回っているのが現状。予防事業は将来のためにも最も大切だと思うが目に見える結果が出にくいだけに難点も。  |
| 534 | 保健所や医療機関との連携を深めた事業展開をしていきたい。  |
| 535 | 保健部門だけでなく保育園、学校、児童相談所など地域との連携が不可欠でネットワークづくりが急務だと考える。  |
| 536 | 保健分野だけで推進するには限界があるし余力もない。他分野や関係機関の連携、協力体制が必要だがこれから作り上げていくような状況。今後できるところから進めていきたい。   |
| 537 | 保健分野では「母子保健計画」健やか親子21があり、福祉分野では「エンゼルプラン」等の計画が数多くある。内容の充実を図る上では一本化して計画立案、推進するのが効果的であると考える。   |

|     |  |     |   |
|-----|--|-----|---|
| 538 | 保健分野に止まらない医療や学童期の教育に関連する課題にどう取り組んでいったらいいか。   | 561 | 母子保健活動の方向性を示すものとされているが新たに出た課題ではなく抽象的なものなので良く理解できない。事業として予算化、具現化し易いヒントを示して欲しい。   |
| 539 | 補助金があるかないかでもその推進の度合いは違ってくると思う。教育委員会などの教育機関等関係機関への呼びかけも推進には欠かせない。   | 562 | 母子保健計画、エンゼルプランとの絡みなどありどう取り組んでいけばいいか考えているところ。  |
| 540 | 補助金の継続   | 563 | 母子保健計画があるのに何故同じような計画を立てるのか疑問。   |
| 541 | 母子に関する計画がいろいろあり（エンゼルプラン、母子保健計画、子どもプランなど）その計画の整合性、考え方がはっきりしない。  | 564 | 母子保健計画と健やか親子21との兼ね合い、考え方等、もっと勉強しなければと思う。  |
| 542 | 母子に関わる全てのスタッフの連携が大切。特に小学校低学年期にあたる母子への取り組みが重要と思われる。   | 565 | 母子保健計画の基本となる健やか親子21にヘルスプロモーションの概念を取り入れたのは良かった。日常の多忙な業務の中で市民の声に耳を傾け、ヘルスプロモーションの考え方を忘れずに母子健康計画策定に取り組んでいけると思う。   |
| 543 | 母子の部分が大変怪しくなっていて急激に変化していると感じ、その対応を考えていくためには指標になる。今までの視点との違いがあり過ぎて消化しきれない。何か取り組みを始めなければと思うが動けない。                                | 566 | 母子保健計画の見直しとどうリンクさせていくかが難しい。医療機関との連携や医者の確保など市町村独自での対応は困難。県全体で取り組むべき課題など役割の明確化が必要が考えられる。  |
| 544 | 母子への支援、援助はこれから大きな位置をしめると思うが市町村への事業の移譲が多い。あれもこれもやらなければいけない状況でありどうしていったらよいか困る。   | 567 | 母子保健計画の見直しと並行して健やか親子21を捉えていきたいと思っている。教育サイド、専門団体、民間団体へのアプローチを国、県で意識啓発を行って欲しい。  |
| 545 | 母子への対策、目標について系統的に書かれており母子保健への取り組みを盛り上げるきっかけにし易いが予算、強制力がなく取り組めずにいる。   | 568 | 母子保健計画の見直しに当たり大変参考になった。   |
| 546 | 母子関係者だけではなく教育委員会等へも積極的な働きかけをして取り組めるようになると良かったと思う。  | 569 | 母子保健計画の見直しの年でもあり健やか親子21も組み入れ住民のニーズに合ったものを策定したいと思う。そのために先駆的な事業に取り組んでいる市町村等の情報があれば紹介して欲しい。  |
| 547 | 母子保健には力を入れたいと常々思っているが現実にはマンパワー不足。どうしても老人、成人に関わるスタッフの数が多。   | 570 | 母子保健計画の見直しもありこの計画へ健やか親子21をどう盛り込んでいくべきか悩んでいる。  |
| 548 | 母子保健に関する課題や問題点を再確認できた。今後の母子保健計画見直しや施策のベースとして使う。  | 571 | 母子保健計画の見直しをしつつ、社会環境の急激な変化をしっかりと捉え各町の独自性が出せたら良いと思う。  |
| 549 | 母子保健に対する思い入れはあるのだが、思春期に力を入れるためにも、学校保健との連携を何とかしたい。  | 572 | 母子保健計画の見直しを含めて児童福祉の分野と連携しながら取り組み始めたという段階。住民の声を反映させながら考えていきたい。   |
| 550 | 母子保健のみならず老人保健事業や福祉事業において縦割り行政の弊害なのか、円滑な住民サービスへの事業転換が困難さを増している。予算減らし、人員減らし等で小さな市町村では連携も難しいのが現状。事業説明だけではなく機構も含めた案で施策を構築して欲しい。    | 573 | 母子保健計画の見直しを行う年度にあたりそれを行う際に健やか親子21の主旨は現社会を映し出したものと思う。小さな村なのでなかなか大きな事業はできないが、住民の声を取り入れ策定を行いたいと思う。   |
| 551 | 母子保健の見直しができなくて、なかなか実施できていない。   | 574 | 母子保健計画の中に健やか親子21の考え方を取り入れていく予定。   |
| 552 | 母子保健の対象者にだけ事業を展開するのではなく、それを取り巻くさまざまな世代の人に子育ての環境変化の現状を伝え、少しずつでも意識改革できるよう努めたい。   | 575 | 母子保健計画を今年見直し、特に思春期と子どもの発達と育児不安について考慮した検討が必要。専門スタッフの人材不足のところもあり必要性を感じても事業に結びつかないところが悩み。  |
| 553 | 母子保健の範囲が思春期まで広がり国レベルで厚生労働省から文部科学省に連携がとられたことは現場で働く者にとって学校と連携をとる一つのきっかけになると思う。しかし、実際には難しいことも多く末端にまで連携の必要性が浸透するような働きかけ（学校側）を期待する。 | 576 | 母子保健計画を立てるにあたり健やか親子21を見据えてはいるもののまだ具体的な取り組みはできていない。健康日本21は少しずつ取り組んでいけるもの町単位でできるものではないので多方面との連携が必要。   |
| 554 | 母子保健の分野がすごく広がったことを痛感している。ただ、思春期の対策にどう取り組んでいったら良いか難しさを感じる。健やか親子21は漠然としている分取り組みが各自治体の裁量に任されており、活動がしやすいような、しにくいような複雑な感じがする        | 577 | 母子保健事業については先輩保健婦と相談しながら模索している状態。思春期などについても取り組みたいとは思っているがマンパワーも少なくまずは母体そして乳幼児期への取り組みをと考えている。前向きな先輩と共に〇〇町の母子保健の向上に向け頑張っていきたいと思う。                                      |
| 555 | 母子保健をあらゆる分野から見た計画だと思う。ただ、各機関で今後計画を立てるだけではなく地域全体の問題として捉え、まとめあげていくことの大切さと共に難しさを感じる。  | 578 | 母子保健事業にももっともっと力を入れる必要性を感じているが業務量が多くゆとりがない。マンパワーの確保と予算措置が難しい現状がある。   |
| 556 | 母子保健を考える時エンゼルプランとの関係も考えていく必要がある。国としても政策を出すだけに終わるのではなく企業等雇用体制の整備（義務化）を是非進めて欲しい。   | 579 | 母子保健事業の担当として安心して子どもを産み、健やかに子どもを育てることの基礎になる少子化対策について、今後早急に取り組まなければならないと思っている。そのため少しでも多くの住民の声を生かした母子事業を展開していきたい。  |
| 557 | 母子保健を国民運動計画として推進していくのはとても良い事だと思うが民間団体の支援を得るためには力強いネットワークと支援が必要と強く感じる。  | 580 | 母子保健事業も府より市町村に移管され5年目を迎えている。少子高齢社会、核家族化、都市化等の社会状況の中で以前の母子保健の考え方から父親や祖父母、地域も含め健やかに親子が暮らせる社会を住民参画のもと考えていく必要がある。   |
| 558 | 母子保健を充実するには健やか親子21は大きな指標になると考えられるが、この経済状況の厳しい中で予算の確保等が困難である。現状の事業の見直しを図り、市民と密接な関係を保つことで育児不安の軽減等に重点を置いた事業を展開していきたい。             | 581 | 母子保健事業をグローバルな視点で見ると良い指標だと思う。自分達の市町村を振り返りこれからのあり方を検討していきたい。  |
| 559 | 母子保健を十分に推進する事業をやりたいと考えるが少子高齢化で痴呆、精神問題に追われる日々。何とかしたいと考えるが一人では思うようにいかない。   | 582 | 母子保健事業をすすめる現状は、マンパワー不足、補助金↓のため財政力の低い当市では困難。特に思春期の問題の必要性を考えているが、保健行政が学校教育現場に介入することも硬い壁があってエネルギーを要している。いろいろな秘策を実施しないと！健やか親子21ができました、どのくらい実施する予定か、しているか、今回のようなアンケートを見る |
| 560 | 母子保健を進めていく上でとても重要なことばかり。しかし、予算的なことだけではなくマンパワーの確保等も町ではとても困難で推進していくことが難しいのが現状。国や県からもっと計画を推進しやすい状況をつくってほしい。                       |     |   |

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
|     | と現場を知らない人が…と思ってしまう。現状を把握し、今後この結果を生かして、どの市町村でも実施に取り組めるような環境整備を考えていただきたい。  | 604 | 予算措置がない中でどの程度できるか不安。現在の母子保健事業報告の見直しと今後の方向性について健やか親子21も合わせて考えていきたい。   |
| 583 | 母子保健推進会議のメンバーの方々や検討を重ねながら実施調査の結果を生かして健やか親子21計画の策定を行っていきたいと思う。イキイキとした子ども達、希望溢れる未来の町を想い描きながら10年間を検討していくことは楽しみ。   | 605 | 予算措置に基づいた事業を行いたいと思うが従来行っていることに対して予算をつけて配分するのに手数料がかかる。実際には健やか親子21の推進に十分値する活動も行っていることを理解してもらいたい。   |
| 584 | 母子保健法の改正、介護保険制度開始、精神保健福祉法改正から業務移管など市町村業務が増加する一方。町の財政も厳しく業務拡大に伴う人員配置も不十分であり少子高齢化の中、母子保険業務の充実強化も厳しい状況。   | 606 | 予算措置やマンパワー不足などの問題もあるので地域住民のニーズを把握し、できることからやってみようと思う。   |
| 585 | 母親の育児力形成のため「子どもの成長、発達」をちゃんと理解する場（学習）が必要と思われる。「予防」の視点で乳幼児期の子育ての重要性にもっと取り組む必要がある。  | 607 | 様々な計画が多く各計画を統合すべきだと思う。   |
| 586 | 本市ではH9年度からヘルスプロモーションの考えに基づき事業展開しつつある。  | 608 | 様々な施策が取り上げられている。その中でどこまでできるかわからないが優先順位をたてて取り組みたいと考えている。関係機関との連携が益々重要になると思う。  |
| 587 | 本町での母子保健計画の中の各事業の指標化の見直しにいい機会になったがすべての項目でクリアできるわけではないのが現状。特に、思春期に関しては教育現場の調整をこれから行っていくところ。また、全国的に国や都道府県レベルでの指標も多い中、市町村レベルの細かな指標を考えているところ。                    | 609 | 理想である。しかし、実際に市町村で行うにはマンパワー、予算等難しい。地方分権で他の業務に追われている現実からはほど遠い。広域で行うなど市町村間の差が出ない方法は考えられないのか。  |
| 588 | 本町のように小さい町では何もかもはやれない。しかし、心の問題については一番大切になってくるので学校部門、福祉部門と連携し是非やってみなければいけない。それも縦割り行政ではなかなか他部門との連携が取れない。   | 610 | 理想を追い求めるのではなく、問題解決のためできることからやっていきたいと思う。楽しい計画になればと思う。   |
| 589 | 本町は昨年度が保健計画策定の年だったので、できるだけ計画の中に盛り込もうという思いで作った。今後も事業のなかで健やか親子21に関連した活動に取り組んでいきたいと思う。  | 611 | 理念については情報が入っていたのでよく分かったがヘルスプロモーションを展開させるための方法、具体的な動きについて等の情報や研修が不足。今になって研修を受けても母子保健計画の策定に向けて時間的にもゆとりが無い。保健所でもっと先を見て前年度から研修を開催するなりモデル事業があることを知らせて欲しかった。自分自身も勉強不足。                                     |
| 590 | 本町独自の実際活用できる計画のもとで活動していきたい。  | 612 | 理念の基本がヘルスプロモーションにおいてあり、主要課題など明確にしてあるので分かりやすく、また計画、事業の推進などがしやすい。町の母子保健計画と照らし合わせながら、方向性を確認したりしている。   |
| 591 | 本年度は母子保健計画の見直しの年ということで見直す際に健やか親子21に掲げられた4つの目標の中で何が自分の町に必要なかを判断し計画の中に取り込んでいきたいと思う。  | 613 | 理念は素晴らしいと思う。現場で声を聞くことが多い立場だが業務量が多くゆっくりお母さん達の話聞くゆとりがない時もある。人員削減がよく言われるが人対人のところだから人員は必要。学校との連携にて喫煙、飲酒、性教育、子育て等先生達と関わってほしい。   |
| 592 | 本年度見直しの年、母子保健計画の中に健やか親子21の中で実施可能な部分を新計画に取り入れ14年度から実施できたらと考える。  | 614 | 理念は納得できたが健やかな子どもの発達を促す背景の上流にあると思われる子どもの競争管理教育や労働（失業も含め）問題の取り組みや提起をきちんと入れて問題解決の方向を明確化して欲しかった。   |
| 593 | 命、人権を大切にできるよう育てたいし、育つ権利を守ってやれるシステムを作りたいが行政の中に義務的位置付けがないことからどうしても優先順位から外れる。教育委員会、社会教育を含め予算裏付けのもとに義務的位置付けで指導して欲しい。   | 615 | 理念は分かるが予算的根拠が乏しいので新規事業は難しいと思われる。現在ある事業の充実で対応したいと考えている。   |
| 594 | 目的は何？国、県で取り組む事業の効果が問われ評価が問われると思う。  | 616 | 良いものだと思う。〇〇先生より健やか親子21の話聞きもっと身近に感じた。以前配布されたパンフレットでは一般人は分からないのでは。   |
| 595 | 目標として掲げられていることはもっともな内容ばかりで評価し易いよう数、率の変化を目標としている事も理解できる。ただし、目標達成に向けどんなことをどのように取り込むかこそが課題であり具体的に示して欲しい。母子保健計画策定にあたってもう少し身近な目標を立てたいと考えている。健やか親子21は大き過ぎて参考にしにくい。 | 617 | 良く研究され現状にあった計画だと思う。  |
| 596 | 目標として掲げた指標の達成状況について数年毎に情報を提供して欲しい。   | 618 | 良く理解できるようまとめてあると思う。国の役割として考え方を提示したので今後市町村は市民と関係機関とどのように推進していくかが課題。母子保健の共通語として健やか親子21となるととても他と一緒に推進していく上でやり易くなると考える。  |
| 597 | 目標に対しどのような活動をしていいか、また独自の問題、目標が整理できていない状況であり、まだ実際に活動する計画はないが、健やか親子21を受け、村独自の目標等考えていきたい。   | 619 | 領域別の選定の仕方、目標値設定の妥当性、地方計画としての程度盛り込むべきか分かりにくい。   |
| 598 | 目標数値がたくさん計上してあり市町村はどのように数値を上げていったらいいか困っている。  | 620 | 老人保健福祉計画や介護保険計画のような老人対象は老人になって死亡するまでの期間のサービス提供が中心だった。しかし、健やか親子21は子どもの成長が日本を削り支えていくことをよく考えておかなければならない。子どもに対するサービスやケアではなく子どもを取り巻く全ての人、環境、施設を考えなければ老人保健福祉計画の二の舞になると思う。国の施設や人材育成計画の拡大が更になければ小中町村は予算が苦しい。 |
| 599 | 目標達成に向けて積極的に取り組んでいきたい。   |     |  |
| 600 | 目標値がかなり大雑把であり、ある程度5年毎の目標値として細かにあげた方が具現化しやすい。教育、福祉等の機関との連携が必須であることから、健やか親子21をすすめるにあたって留意点として関係機関との連携、協力体制についても明記して欲しい。  |     |  |
| 601 | 目標値設定が10年後となっているが10年後社会環境が変わる状況で設定した目標値で妥当なのか。   |     |  |
| 602 | 予算がない（国、県からの予算的措置がない）村で行うためには既存の事業の見直しをして予算を回すしかない。目標に対する具体的施策の例がない。効果のありそうな事業等の模索が全て町村に任されている。  |     |  |
| 603 | 予算が欲しい。  |     |  |

\*個人・団体・地域が特定されるものは名前を伏せて記載した。

平成13年8月20日

各 都道府県・市町村 母子保健主管部（局）長 殿

厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）  
「地域における新しいヘルスケア・コンサルティング  
システムの構築に関する研究」研究班  
主任研究者 山縣然太郎

拝啓

残暑厳しき折、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、厚生労働省では本年より2010年までの母子保健の国民運動計画として「健やか親子21」を開始いたしました。そこで、私ども厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」研究班では、「健やか親子21」の各課題ごとの取り組み目標に対する都道府県及び管下保健所・市町村等における現状（ベースライン）の調査および、現在の母子保健活動に関する取り組み状況を把握する目的で、全国調査を行うことになりました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ではございますが、上記趣旨をお汲み取りいただき、別紙調査実施要項のように、「健やか親子21の取り組みに関する調査」にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本調査は当研究班において「健やか親子21」の推進および研究以外の目的では使用せず、ご協力いただいた個人が特定されることはありません。また、記載していただいた情報は当研究班で厳重に管理いたします。

敬具

本調査の照会先

厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」

主任研究者 山縣然太郎

〒409-3898 山梨県中巨摩郡玉穂町下河東 1110

山梨医科大学保健学Ⅱ講座

電話 055-273-9566 FAX 055-273-7882

Email: boshidat@res.yamanashi-med.ac.jp

# 健やか親子21の取り組みに関する調査

## 実施要項

### 1. 目的

健やか親子21の各課題ごとの取り組み目標に対する都道府県及び管下保健所・市町村等における現状（ベースライン）の調査および、現在の母子保健活動に関する取り組み状況を把握する目的で実施します。

### 2. 実施主体

実施主体は厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」研究班（主任研究者 山梨医科大学教授 山縣然太郎）です。

### 3. 調査票

調査票は、調査対象によりそれぞれ2種類あります。

都道府県・保健所に「都道府県・保健所用調査票」（緑色）と

「都道府県・保健所の母子保健担当者の意見用調査票」（薄紫色）、

市町村に「市町村用調査票」（ピンク色）と

「市町村の母子保健担当者の意見用調査票」（ベージュ色）、

政令市・特別区に「政令市・特別区用調査票」（青色）と

「政令市・特別区の母子保健担当者の意見用調査票」（オレンジ色）

を、それぞれ配布しました。

### 4. 実施方法

#### (1) 調査対象と記入調査票

各都道府県・保健所は、

①「都道府県・保健所用調査票」（緑色）にお答えください。

②都道府県・保健所の母子保健担当の方1名ずつ、それぞれ個人の意見として「都道府県・保健所の母子保健担当者の意見用調査票」（薄紫色）にお答えください。

注 都道府県におかれましては、恐縮ですが、管下保健所に調査票を配布頂けますようお願い申し上げます。

市町村は、

③「市町村用調査票」（ピンク色）にお答えください。

④市町村の母子保健担当の方1名が個人の意見として「市町村の母子保健担当者の意見用調査票」（ベージュ色）にお答えください。

注 保健センターが複数ある市町村は代表して③、④の1セットにご回答ください。

政令市・特別区は、

⑤「政令市・特別区用調査票」（青色）にお答えください。

⑥政令市、特別区の母子保健担当の方1名が個人の意見として「政令市・特別区の母子保健担当者の意見用調査票」（オレンジ色）にお答えください。

注1 政令市・特別区は、保健所または市・区のいずれかの担当の方がご回答ください。

注2 保健センターが複数ある市・区は代表して⑤、⑥の1セットにご回答ください。

(2) 同封の返信用封筒に、配布された2種類の調査票を入れて、下記締め切り日までにご返送ください。

### 1. 倫理的配慮

本調査は当研究班において「健やか親子21」の推進および研究以外の目的では使用いたしません。学会発表等、調査結果の公開の際には、ご協力いただいた個人が特定されることはありません。また、記載していただいた情報は当研究班で厳重に管理いたします。

### 2. 調査締め切り

平成13年9月21日（金曜日）

### 3. お問い合わせ

調査内容に関するご質問等は、下記、厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」研究班までお寄せください。できれば電子メールでお願いいたします。

主任研究者 山縣然太郎 〒409-3898 山梨県中巨摩郡玉穂町下河東 1110

山梨医科大学保健学Ⅱ講座

電話 055-273-9566 FAX 055-273-7882

Email: boshidat@res.yamanashi-med.ac.jp

分担研究者 松浦 賢長 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学衛生学研究室

FAX 075-645-1734

Email: eiseiken@kyokyo-u.ac.jp

## 健やか親子21の取り組みに関する調査

厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

「地域における新しいヘルスケア・コンサルティング  
システムの構築に関する研究」研究班

各都道府県及び管下保健所・市町村を対象に、「健やか親子21」の各課題の取り組み目標の現状（ベースライン）把握と、母子保健活動に関する取り組みについて調査しています。ご協力の程よろしくお願いいたします。

本調査は当研究班において「健やか親子21」推進および研究における解析以外の目的では使用いたしません。学会発表等、調査結果の公開の際には、ご協力いただいた個人が特定されることはありません。また、記載していただいた情報は当研究班で厳重に管理いたします。調査に関してのお問い合わせは下記へお願いいたします。

〆切 平成13年9月21日（金曜日）でお願いいたします。

お問い合わせ先

厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「地域における新しいヘルスケア・コンサルティングシステムの構築に関する研究」研究班

主任研究者 山縣然太郎 〒409-3898 山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110  
山梨医科大学保健学Ⅱ講座

FAX 055-273-7882 Email: boshidat@res.yamanashi-med.ac.jp

分担研究者 松浦 賢長 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地  
京都教育大学衛生学研究室

FAX 075-645-1734 Email: eiseiken@kyokyo-u.ac.jp

### 第1部

#### 健やか親子の取り組み目標の現状（ベースライン）の調査

問1 平成12年度に中学校・高等学校と連携した薬物乱用防止教育を実施しましたか。（○はひとつ）

（注）これには、喫煙、飲酒を含む

1. はい 2. いいえ → 1-3へ進んで下さい。

1-1. 「はい」の場合、どのようなことを実施していますか。具体的にお書きください。

[ ]

1-2. 管内の中・高校 何校中何校で実施しましたか。 ( 校中 校で実施)

1-3. 平成13年度以降に実施する予定がありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問2 平成12年度に中学校・高等学校と連携した性教育を実施しましたか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ → 2-3 へ進んで下さい。

2-1. 「はい」の場合、どのようなことを実施していますか。具体的にお書きください。

[ ]

2-2. 管内の中・高校 何校中何校で実施しましたか。 ( 校中 校で実施)

2-3. 平成13年度以降に実施する予定がありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問3 初期、二次、三次の小児救急体制が整備されていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ → 3-2 へ進んで下さい。

3-1. 「はい」の場合、どのように整備していますか。その他は具体的にお書きください。(○はいくつでも)

- ア.小児科医の輪番制 イ.休日・夜間診療所 ウ.小児病院 エ.医療計画に盛り込んだ  
オ.その他

[ ]

3-2. 「いいえ」の場合、平成13年度以降に整備する予定がありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問4 あなたの保健所管内または都道府県で周産期医療施設から退院した未熟児等のハイリスク児へのフォロー体制が確立していますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ → 4-2 へ進んで下さい。

4-1. 「はい」の場合、どのような体制が確立していますか。その他は具体的にお書きください。(○はいくつでも)

ア. 医療機関と連携した家庭訪問    イ. ホームヘルパーの派遣    ウ. 訪問看護ステーション

エ. その他

[

4-2. 「いいえ」の場合、平成13年度以降に確立する予定はありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問5 育児不安・虐待に関する親のグループの活動の支援を実施していますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ → 5-2 へ進んで下さい。

5-1. 「はい」の場合、どのような支援を実施していますか。その他は具体的にお書きください。(○はいくつでも)

ア. 保健所単独での親のグループの支援    イ. 市町村と共催の親のグループの支援

ウ. 市町村への技術支援

エ. その他

[

5-2. 「いいえ」の場合、平成13年度以降に実施する予定はありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

## 第2部

### 現在の母子保健事業の取り組み状況、電子化、コンサルティングについての調査

問1 現在、貴都道府県・保健所において「健やか親子21」に関連した事業（予算措置に基づいた事業）を行っていますか。あれば、どのような分野に関連した事業か、下記の1-36の選択肢からあてはまるものすべてを選び番号を○で囲んで下さい。

#### I【思春期の保健対策の強化と健康教育の推進】分野

- |         |            |         |             |
|---------|------------|---------|-------------|
| 1. 喫煙   | 2. 飲酒      | 3. 薬物乱用 | 4. 妊娠、出産、避妊 |
| 5. 性感染症 | 6. 思春期の心身症 | 7. 不登校  | 8. 引きこもり    |
| 9. 有害情報 | 10. その他（   | ）       | 11. 行っていない  |

#### II【妊娠出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援】分野

- |                              |            |             |  |
|------------------------------|------------|-------------|--|
| 12. 医師、助産婦、保健婦・士との定期的情報交換の推進 |            |             |  |
| 13. 職場、公共施設での妊産婦に優しい環境作り     |            |             |  |
| 14. 周産期医療ネットワークの整備           | 15. 不妊専門相談 | 16. 産褥期ヘルパー |  |
| 17. その他（                     | ）          | 18. 行っていない  |  |

#### III【小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備】分野

- |                                 |                  |                    |
|---------------------------------|------------------|--------------------|
| 19. S I D S 予防                  | 20. 事故防止         | 21. 乳幼児健康支援一時預かり事業 |
| 22. 予防接種                        | 23. 小児科、新生児科研修推進 |                    |
| 24. 小児医師確保                      | 25. 小児救急医療       |                    |
| 26. 慢性疾患児への支援（院内学級、院内保育士等の環境整備） |                  |                    |
| 27. その他（                        | ）                | 28. 行っていない         |

#### IV【子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減】分野

- |                         |                 |            |  |
|-------------------------|-----------------|------------|--|
| 29. 育児支援情報              | 30. 育児不安対策      |            |  |
| 31. 育児支援のための妊産婦、乳幼児健康診査 | 32. 周産期から退院後のケア |            |  |
| 33. 子どもの心の問題            | 34. 児童虐待予防      |            |  |
| 35. その他（                | ）               | 36. 行っていない |  |

問2 その他、健やか親子21に関連した独自の母子保健事業を行っていますか。（○はいくつでも：例えば、学校現場に講師を派遣する事業など）

- |                             |      |   |
|-----------------------------|------|---|
| 1. はい、10/10など国庫補助金にて実施。（内容： | ）    |   |
| 2. はい、都道府県補助金にて実施。（内容：      | ）    |   |
| 3. はい、市町村・特別区の予算にて実施。（内容：   | ）    |   |
| 4. はい、民間助成金にて実施。（助成金名       | ）    |   |
|                             | （内容： | ） |
| 5. いいえ                      |      |   |